

(様式第 10)

関西枚発第 15X01 号  
平成 27 年 10 月 3 日

厚生労働大臣

殿

開設者名 大阪府枚方市新町 2 丁目 5 番 1 号  
学校法人 関西医科大学  
理事長 山下敏夫 (印)

関西医科大学附属枚方病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 26 年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒573-1010 大阪府枚方市新町2丁目5番1号
氏 名	学校法人 関西医科大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

関西医科大学附属枚方病院
--------------

3 所在の場所

〒573-1191 大阪府枚方市新町2丁目3番1号	電話(072) 804 - 0101
---------------------------	--------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

① 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜
--

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	(有) ・ 無
内科と組み合わせた診療科名等 1 血液・腫瘍内科 2 呼吸器内科 3 感染症内科 4 循環器内科 5 腎臓内科 6 内分泌内科 7 代謝内科 8 消化器内科 9 肝臓内科 10 心療内科 11 神経内科 12 リウマチ科	
診療実績	

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	(有) ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 1 肝臓外科 2 胆のう外科 3 膵臓外科 4 消化器外科 5 小児外科 6 乳腺外科 7 心臓血管外科 8 血管外科 9 呼吸器外科 11 頭頸部外科 12 形成外科	
診療実績	

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科 ②小児科 ③整形外科 ④脳神経外科 ⑤皮膚科 ⑥泌尿器科 ⑦産婦人科 8 産科 9 婦人科 ⑩眼科 ⑪耳鼻咽喉科 ⑫放射線科 13放射線診断科 14 放射線治療科 ⑮麻酔科 ⑯救急科
--

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1 歯科・口腔外科 2 3 4 5 6 7	
歯科の診療体制	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 リハビリテーション科 2 病理診断科 3 臨床検査科
------------------------------

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
床	床	床	床	751 床	751 床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成27年10月1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	317人	87人	341.9人	看護補助者	65人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	2人	1人	2.6人	理学療法士	14人	臨床検査技師	72人
薬 剤 師	57人	0人	57人	作業療法士	5人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	8人	その他	0人
助 産 師	38人	1人	38.7人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	794人	29人	815.7人	臨床工学士	20人	医療社会事業従事者	8人
准看護師	0人	0人	0人	栄 養 士	0人	その他の技術員	19人
歯科衛生士	4人	0人	4.0人	歯科技工士	0人	事務職員	135人
管理栄養士	5人	7人	7.8人	診療放射線技師	39人	その他の職員	10人

- (注) 1 申請前半年以内のある月の初めの日における員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含まないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成27年10月1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	19人	眼 科 専 門 医	13人
外 科 専 門 医	36人	耳鼻咽喉科専門医	9人
精神科専門医	1人	放射線科専門医	16人
小児科専門医	13人	脳神経外科専門医	6人
皮膚科専門医	5人	整形外科専門医	11人
泌尿器科専門医	11人	麻酔科専門医	11人
産婦人科専門医	9人	救急科専門医	6人
		合 計	166人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	628.3人	0.2人	628.5人
1日当たり平均外来患者数	1355.0人	18.2人	1373.2人
1日当たり平均調剤数			828.9 剤
必要医師数			147 人
必要歯科医師数			2 人
必要薬剤師数			21 人
必要(准)看護師数			368 人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日

で除した数を記入すること。

- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

## 9 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設 備 概 要			
集中治療室	891.70m <sup>2</sup>	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造）耐火建築物	病床数	53床	心電計	○・無
			人工呼吸装置	○・無	心細動除去装置	○・無
			その他の救急蘇生装置	○・無	ペースメーカー	○・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 151.5 m <sup>2</sup> [移動式の場合] 台数 台		病床数	14 床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 53 m <sup>2</sup> [共用室の場合] 共用する室名 病棟業務課					
化学検査室	405.3m <sup>2</sup>	〃	(主な設備) AU5800,XE-2100,アーキテクト,Eモジール,コアグレックス			
細菌検査室	112.9m <sup>2</sup>	〃	(主な設備) 安全キャビネット,バクテアアード3D,BDフェニックス、ライトサイクラー			
病理検査室	299.9m <sup>2</sup>	〃	(主な設備) カセット印字機,スライド印字機,パ°ラフィン液透機,免疫染色機			
病理解剖室	118.9m <sup>2</sup>	〃	(主な設備) パ°ラフィン液透機,包埋センター,ト°ラフトチャンバー			
研究室	8193.84m <sup>2</sup>	〃	(主な設備) 顕微鏡,冷却遠心機,CO2インキュベーター			
講義室	363.40m <sup>2</sup>	〃	室数 2 室		収容定員	210 人
図書室	1135.16m <sup>2</sup>	〃	室数 1 室		蔵書数	52,000 冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

## 10 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成26年4月1日～平成27年3月31日	
紹介率	77.4%	逆紹介率	60.7%
算出根拠 A: 紹介患者の数			21,972人
B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			18,092人
C: 救急用自動車によって搬入された患者の数			1,078人
D: 初診の患者の数			29,768人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。





(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	107人	・膿疱性乾癬	7人
・多発性硬化症	44人	・広範脊柱管狭窄症	8人
・重症筋無力症	116人	・原発性胆汁性肝硬変	133人
・全身性エリテマトーデス	388人	・重症急性膵炎	19人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	105人
・再生不良性貧血	57人	・混合性結合組織病	45人
・サルコイドーシス	186人	・原発性免疫不全症候群	5人
・筋萎縮性側索硬化症	35人	・特発性間質性肺炎	22人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	263人	・網膜色素変性症	106人
・特発性血小板減少性紫斑病	277人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	33人	・肺動脈性肺高血圧症	34人
・潰瘍性大腸炎	201人	・神経線維腫症	70人
・大動脈炎症候群	23人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・ビュルガー病	62人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	58人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	4人
・脊髄小脳変性症	72人	・ライソゾーム病	4人
・クローン病	93人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	11人
・悪性関節リウマチ	22人	・脊髄性筋委縮症	1人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	495人	・球脊髄性筋委縮症	5人
・アミロイドーシス	27人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	33人
・後縦靭帯骨化症	89人	・肥大型心筋症	87人
・ハンチントン病	4人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウリス動脈輪閉塞症)	27人	・ミトコンドリア病	6人
・ウェゲナー肉芽腫症	10人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	2人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	72人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	47人	・黄色靭帯骨化症	6人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、AD H分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	47人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科外来診療環境体制加算	・病棟薬剤業務実施加算
・特定機能病院入院基本料(7対1)	・データ提出加算2
・臨床研修病院入院診療加算	・救命救急入院料1・4
・救急医療管理加算	・特定集中治療室管理料2
・超急性期脳卒中加算	・総合周産期特定集中治療室管理料(母体胎児・新生児)
・妊産婦緊急搬送入院加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・診療録管理体制加算2	・小児入院医療管理料2
・急性期看護補助体制加算(50対1)	・
・療養環境加算	・
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算1・2	・
・緩和ケア診療加算	・
・がん診療連携拠点病院加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊婦管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・退院調整加算	・
・新生児特定集中治療室退院調整加算	・
・救急搬送患者地域連携紹介加算	・
・救急搬送患者地域連携受入加算	・
・総合評価加算	・
・呼吸ケアチーム加算	・

(様式第2)

## 高度の医療の提供の実績

### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科①)

施設基準の種類	施設基準の種類
・心臓ペースメーカー指導管理料(植込型除細動器移行加算)	・時間内歩行試験
・高度難聴指導管理料	・胎児心エコー法
・糖尿病合併症管理料	・ヘッドアップティルト試験
・がん性疼痛緩和指導管理料	・皮下連続式グルコース測定
・がん患者指導管理料	・長期継続頭蓋内脳波検査
・外来緩和ケア管理料	・神経学的検査
・移植後患者指導管理料	・補聴器適合検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・ロービジョン検査判断料
・外来放射線照射診療料	・小児食物アレルギー負荷検査
・ニコチン依存症管理料	・内服・点滴誘発試験
・地域連携診療計画管理料	・センチネルリンパ節生検(乳がんに係るものに限る。)
・がん治療連携計画策定料	・CT透視下気管支鏡検査加算
・がん治療連携管理料	・画像診断管理加算2
・肝炎インターフェロン治療計画料	・ポジトロン断層撮影
・薬剤管理指導料	・CT撮影及びMRI撮影
・医療機器安全管理料1・2	・冠動脈CT撮影加算
・歯科治療総合医療管理料	・大腸CT撮影加算
・在宅患者訪問看護・指導料	・心臓MRI撮影加算
・同一建物居住者訪問看護指導料	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・持続血糖測定器加算	・外来化学療法加算1
・造血器腫瘍遺伝子検査	・無菌製剤処理料
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
・検体検査管理加算Ⅰ・Ⅳ	・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
・遺伝カウンセリング加算	・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
・植込型心電図検査	・がん患者リハビリテーション料

(様式第2)

### 高度の医療の提供の実績

#### 6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科②)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科口腔リハビリテーション料2	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・認知療法・認知行動療法2	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術(レーザーシースを用いるもの)
・処置の休日加算1、時間外加算1、深夜加算1	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)	・経皮的動脈遮断術
・透析液水質確保加算	・内視鏡下下肢静脈瘤不全穿通枝切離術
・一酸化窒素吸入療法	・ダメージコントロール手術
・CAD/CAM冠	・腹腔鏡下胃縮小術(スリーブ状切除によるもの)
・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)	・体外衝撃波胆石破碎術
・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る)	・腹腔鏡下肝切除術
・脳腫瘍覚醒下マッピング加算	・生体部分肝移植術
・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。 )及び脳刺激装置交換術	・体外衝撃波膵石破碎術
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・網膜再建術	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるもの)
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)	・同種死体腎移植術
・上顎骨形成術、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)	・生体腎移植術
・乳がんセンチネルリンパ節加算1	・膀胱水圧拡張術
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・経皮的冠動脈形成術	・人工尿道括約筋植込・置換術
・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・経皮的冠動脈ステント留置術	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・経皮的中隔心筋焼灼術	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・医科点数表第2章第10部手術の通則5及び6(歯科点数表第2章第9部の通則4を含む。)に掲げる手術
・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術	・手術の休日加算1、時間外加算1、深夜加算1





## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元	
神経障害性疼痛の情動的側面に対する新規診断法の開発	首藤 由江	心療内科学	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科研費
高度な骨分化能と抗炎症作用を有する幹細胞を利用した新規歯周組織再生療法の確立	澤田 俊輔	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科研費
CT透視下穿刺支援デバイスシステムの開発	中谷 幸	放射線科学	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科研費
細胞成長因子保持型人工真皮を用いた細胞治療および細胞誘導治療	森本 尚樹	形成外科学	3,510,000	補 委	日本学術振興会 科研費
1型自己免疫性膵炎におけるIgG4産生機序と自然免疫の役割	内田 一茂	内科学第三	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科研費
線溶系物質による樹状細胞機能の制御:炎症性疾患に向けた新たな治療コンセプトの提案	伊藤 量基	内科学第一	780,000	補 委	日本学術振興会 科研費
胎児の栄養環境と代謝エピジェネティクス制御	高屋 淳二	小児科学	910,000	補 委	日本学術振興会 科研費
トラスツマブ耐性に関する分子機構の解析と新規治療法開発のための基礎的研究	杉江 知治	外科学	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科研費
増殖型遺伝子組換えウイルスを用いた根治不能肝腫瘍に対する新治療法の開発研究	権 雅憲	外科学	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科研費
pSmad2/3L-Thrに着目した消化管上皮幹細胞・癌化・再生機構の検討	福井 寿朗	内科学第三	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科研費
電気穿孔法によるサイトカインの経皮、経潰瘍底導入効果についての実験的研究	楠本 健司	形成外科学	19,050,000	補 委	日本学術振興会 科研費
質量顕微鏡を用いた神経細胞内封入体の研究	和手 麗香	神経内科学	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科研費
原発性胆汁性肝硬変症の新たなバイオマーカーと免疫療法の検討	吉田 勝紀	内科学第三	1,040,000	補 委	日本学術振興会 科研費

小計13

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」と記入の上で補助元又は委託元を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元	
pSmad2/3L-Thrに着目した消化管上皮幹細胞・癌化・再生機構の検討	福井 寿朗	内科学第三	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科研費
微小変化型ネフローゼ症候群における標的療法の開発	金子 一成	小児科学	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科研費
マウス発がんモデルにおける抗腫瘍剤誘導アポトーシスと腫瘍糖代謝能のイメージング	河 相吉	放射線科学	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科研費
大量ナノバブルにより増強したキャビテーション効果の医療利用:血栓溶解効果での評価	狩谷 秀治	放射線科学	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科研費
肝細胞癌に対するRI標識リポドールを用いた新しい放射線塞栓療法の開発	谷川 昇	放射線科学	2,210,000	補 委	日本学術振興会 科研費
生体内酸素代謝がHIF-1を介して細胞間接着装置の機能調節に与える影響の探究	西 憲一郎	麻酔科学	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科研費
磁場発生装置を使用した軟性尿管鏡位置計測システム及びナビゲーションシステムの開発	松田 公志	腎泌尿器外科学	650,000	補 委	日本学術振興会 科研費
新生血管阻害剤を付加したセラミック微小球による新しい加齢黄斑変性に対する治療	三木 克朗	眼科学	2,600,000	補 委	日本学術振興会 科研費
臓器・組織壁応力を考慮した新しい循環管理法の開発に関する研究	鎌方 安行	救急医学	780,000	補 委	日本学術振興会 科研費
重症紫斑病性腎炎(HSPN)に対するシクロスポリンの有効性とその機序に関する検討	木全 貴久	小児科学	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科研費
経皮的管腔臓器バイパス術の臨床導入:乳糜胸水に対する胸管一下大静脈バイパス術	吉田 理絵	放射線科学	780,000	補 委	日本学術振興会 科研費
電圧負荷式冷蔵庫(氷感庫)における組織保存の検討	畔 熱行	形成外科学	1,040,000	補 委	日本学術振興会 科研費
Insulin/IGFの協調作用を介した心機能調節機構の解明	塩島 一朗	内科学第二	6,240,000	補 委	日本学術振興会 科研費

小計13

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」と記入の上で補助元又は委託元を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元	
質量分析イムノアッセイを用いた内因性ジギタリス産生分泌機序と高血圧発症機序の解明	吉賀 正亨	臨床検査医学	2,990,000	補 委	日本学術振興会 科研費
長期・連続・自動生体情報記録による疾患別遠隔予防・治療システムの臨床効果の研究	木村 穰	健康科学	3,510,000	補 委	日本学術振興会 科研費
自己免疫性肺炎の病態形成における自然免疫系異常に関する研究	岡崎 和一	内科学第三	1,820,000	補 委	日本学術振興会 科研費
心エコー指標による心房細動患者の心血管イベント発症と予後予測に関する検討	宮坂 陽子	内科学第二	1,170,000	補 委	日本学術振興会 科研費
ゲノム情報に基づく腎尿管間質性障害の新しい系統的診断フローの構築	塚口 裕康	内科学第二	1,950,000	補 委	日本学術振興会 科研費
ヒト子宮内膜における転写因子Hand2の機能解析とその臨床的意義	岡田 英孝	産科学・婦人科学	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科研費
酸素含有脂質微小粒子による生体内酸素ホメオスターシス維持法開発を目指した基礎研究	廣田 喜一	麻酔科学	2,340,000	補 委	日本学術振興会 科研費
好酸球性副鼻腔炎合併喘息の病態解明とAirway Medicine確立への第一歩	小林 良樹	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	2,210,000	補 委	日本学術振興会 科研費
脂肪幹細胞と低酸素プレコンディショニング法を用いた血管・皮膚再生療法の開発	覚道 奈津子	形成外科学	1,170,000	補 委	日本学術振興会 科研費
人工心臓手術周術期の血小板由来microRNAによる炎症惹起作用機序の解明	中嶋 康文	麻酔科学	2,600,000	補 委	日本学術振興会 科研費
GPUの深度画像並列処理機能による肝臓手術ナビゲーションシステムの製作とその評価	権 雅憲	外科学	260,000	補 委	日本学術振興会 科研費
機能性人工真皮の開発及び難治性皮膚疾患への応用	森本 尚樹	形成外科学	780,000	補 委	日本学術振興会 科研費
多層計測と非線形柔軟物モデルの協調による実時間臓器追跡に関する研究	松田 公志	腎泌尿器外科学	975,000	補 委	日本学術振興会 科研費
				小計13	

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」と記入の上で補助元又は委託元を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元	
オントロジ技術を用いた内視鏡診断学習システムの開発	仲野 俊成	医療情報部	65,000	補 委	日本学術振興会 科研費
乳癌治療における間質反応とエネルギー代謝に関する研究	杉江 知治	外科学	260,000	補 委	日本学術振興会 科研費
閉塞性動脈疾患における歯周病治療の有効性について	渋谷 卓	外科学	130,000	補 委	日本学術振興会 科研費
糖尿病性皮膚潰瘍の発生予防-皮膚バリア機能破綻機序の解明と新規治療法の開発	森本 尚樹	形成外科学	130,000	補 委	日本学術振興会 科研費
小児の聴覚処理障害に対する評価と教育臨床心理的支援	友田 幸一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	429,000	補 委	日本学術振興会 科研費
肺泡低酸素が低酸素誘導性遺伝子発現変化を通じて肺に及ぼす影響の細胞生物学的検討	廣田 喜一	麻酔科学	910,000	補 委	日本学術振興会 科研費
IgG4・RDの発症・予後・治療反応性に関わる、末梢血および病変組織におけるリンパ球サブセットの検討	岡崎 和一	内科学第三	1,200,000	補 委	厚生労働科学研究 委託費
重症好酸球性副鼻腔炎に対する新しい治療戦略	神田 晃	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	1,500,000	補 委	厚生労働科学研究 委託費
最新のIVRIによる症状緩和についての研究	谷川 昇	放射線科学	1,000,000	補 委	厚生労働科学研究 委託費
局所進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するシスプラチン+S-1同時胸部放射線治療とシスプラチン+ペメトレキセド同時胸部放射線治療の無作為化第Ⅱ相試験	倉田 宝保	内科学第一	1,000,000	補 委	厚生労働科学研究 委託費
未治療原発不明癌に対する次世代シーケンスを用いた原発巣推定に基づく治療効果の意義を問う第Ⅱ相試験	倉田 宝保	内科学第一	1,000,000	補 委	厚生労働科学研究 委託費
高齢がんを対象とした臨床研究の標準化とその普及に関する研究	海堀 昌樹	外科学	1,000,000	補 委	厚生労働科学研究 委託費
高度リンパ節転移を有するHER2陽性胃癌に対する術前trastuzumab 併用化学療法の意義に関する臨床試験	井上 健太郎	外科学	1,100,000	補 委	厚生労働科学研究 委託費

小計13

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」と記入の上で補助元又は委託元を記入すること。

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1. 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元	
IgG4関連疾患の診断基準並びに治療指針の確立を目指した研究	岡崎 和一	内科学第三	3,000,000	補 委	厚生労働科学研究補助費
難治性炎症性腸管障害に関する調査研究	岡崎 和一	内科学第三	500,000	補 委	厚生労働科学研究補助費
小児期からの希少難治性消化管疾患の移行期を包含するガイドラインの確立に関する研究	濱田 吉則	小児科学	200,000	補 委	厚生労働科学研究補助費
小児期発症の希少難治性肝胆膵疾患における包括的な診断・治療ガイドライン作成に関する研究	濱田 吉則	小児科学	150,000	補 委	厚生労働科学研究補助費
網膜脈絡膜・視神経萎縮症に関する調査研究	高橋 寛二	眼科学	500,000	補 委	厚生労働科学研究補助費
希少がんに対するウイルス療法の実用化臨床研究	海堀 昌樹	外科学	800,000	補 委	厚生労働科学研究補助費
高圧処理母斑皮膚および自家培養表皮を用いた先天性巨大色素性母斑の新規治療法の開発	森本 尚樹	形成外科学講座	14,508,954	補 委	文部科学省
先天性巨大色素性母斑を母地とした悪性黒色腫に対する予防的低侵襲治療法の開発	森本 尚樹	形成外科学講座	19,617,000	補 委	厚生労働省
接着制御分子破綻による自己免疫発症機構とIgG4関連全身疾患との関連解析	岡崎 和一	内科学第三講座	32,743,100	補 委	JST
高性能骨導素子を用いた骨導補聴器の開発	友田 幸一	耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	45,305,099	補 委	経済産業省
冠動脈疾患患者に対するピタバスタチンによる積極的脂質低下療法または通常脂質低下療法のランダム化比較試験 (REAL-CAD)	神島 宏	内科学第二	50,000	補 委	公益財団法人 パブリックヘルスリサーチセンター研究助成金
小腸移植におけるIschemic preconditioningと上皮成長因子の効果	濱田 吉則	外科学	2,000,000	補 委	一般財団法人 藤井節郎記念平成26年度研究助成金
特発性ネフローゼの病因研究	北尾 哲也	小児科学	500,000	補 委	公益財団法人 大阪腎臓バンク平成26年度腎疾患研究助成

小計13

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。  
2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。  
3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」と記入の上で補助元又は委託元を記入すること。



## 2. 論文発表等の実績

番号	雑誌名	題名	発表者氏名	発表者の所属
1	Allergology international 63(3):443-455	IL-33 promotes the induction and maintenance of Th2 immune responses by enhancing the function of OX40 ligand.	Satsutani N	血液呼吸器膠原病感染症内科
2	Biol Blood Marrow Transplant.20(10):1553-9	Does the hematopoietic cell transplantation specific comorbidity index (HCT-CI) predict transplantation outcomes? A prospective multicenter validation study of the Kanto Study Group for Cell Therapy.	Nakaya A	血液呼吸器膠原病感染症内科
3	Journal of medical case reports 8:Article No. 250	Combined use of ursodeoxycholic acid and bosentan prevents liver toxicity caused by endothelin receptor antagonist bosentan monotherapy: two case reports.	Ito T	血液呼吸器膠原病感染症内科
4	Oncology letters 8(6):2453-2457	Phase II study of pemetrexed and carboplatin plus bevacizumab, followed by maintenance pemetrexed and bevacizumab in Japanese patients with non-squamous non-small cell lung cancer.	Yokoi T	血液呼吸器膠原病感染症内科
5	Gan To Kagaku Ryoho 41(5):673-5	Retrospective analysis of Charlson comorbidity index (CCI)	Nakaya A	血液呼吸器膠原病感染症内科
6	Gan To Kagaku Ryoho 41(4):523-5	Are the Japanese guidelines for the management of hepatitis B virus reactivation being properly implemented ?	Nakaya A	血液呼吸器膠原病感染症内科
7	Journal of intensive care 3(1):Article No. 2	Clinical significance of procoagulant microparticles.	Nomura S	血液呼吸器膠原病感染症内科
8	Hypertension research 38(3):193-198	The relationships between visit-to-visit blood pressure variability and renal and endothelial function in chronic kidney disease	Nakano C	循環器腎内分泌代謝内科
9	Journal of cardiology cases 9(6):233-235	Quadricuspid aortic valve associated with idiopathic dilated cardiomyopathy: A case report.	Tsujimoto S	循環器腎内分泌代謝内科
10	Hypertension research 38(3):193-198	The relationships between visit-to-visit blood pressure variability and renal and endothelial function in chronic kidney disease.	Nakano C	循環器腎内分泌代謝内科
11	Autoimmunity reviews 13(4-5):451-458	Diagnosis and classification of autoimmune pancreatitis.	Okazaki K	消化器肝臓内科
12	Digestion 90(3):167-178	Inhibition of the dephosphorylation of eukaryotic initiation factor 2 $\alpha$ ameliorates murine experimental colitis.	Okazaki T	消化器肝臓内科
13	Digestive endoscopy 26(Suppl. 2):147-155	Evaluation of endoscopic retrograde cholangiopancreatography using a newly developed short-type single-balloon endoscope in patients with altered gastrointestinal anatomy.	Shimatani M	消化器肝臓内科
14	Digestive endoscopy 26(5):627-635	Role of endoscopy in the diagnosis of autoimmune pancreatitis and immunoglobulin G4-related sclerosing cholangitis.	Kamisawa T	消化器肝臓内科
15	Digestive endoscopy 26(3):436-441	Transcutaneous monitoring of partial pressure of carbon dioxide during endoscopic retrograde cholangiopancreatography using a double-balloon endoscope with carbon dioxide insufflation under conscious sedation.	Miyoshi H	消化器肝臓内科
16	Endoscopy 46(Suppl 1):E275-E276	Rendezvous technique: double-balloon endoscopy and SpyGlass direct visualization system in a patient with severe stenosis of a choledochojejunal anastomosis.	Shimatani M	消化器肝臓内科

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先を全て記載すること。

4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

5 平成二十六年度中の業務報告において当該実績が七十件以上未満の場合には、平成二十六年度の改正前の基準による実績についても報告すること。

## 2. 論文発表等の実績

番号	雑誌名	題名	発表者氏名	発表者の所属
17	Endoscopy 46(S01):E390	Complication of endoscopic papillary large-balloon dilation using double-balloon endoscopy for biliary stones in a postoperative patient.	Shimatani M	消化器肝臓内科
18	Gut Liver 8(5):462-470	Recent advances in the concept and pathogenesis of IgG4-related disease in the hepato-bilio-pancreatic system.	Okazaki K	消化器肝臓内科
19	International Journal of Chronic Diseases 2014:Article No. 862091	Beneficial effect of low-fat elemental diet therapy on pain in chronic pancreatitis.	Ikeura T	消化器肝臓内科
20	International journal of oncology 45(4):1363-1371	TGF- $\beta$ /Smad signaling during hepatic fibro-carcinogenesis (Review).	Yoshida K	消化器肝臓内科
21	Journal of Hepato-Biliary-Pancreatic Sciences 21(4):E22-E28	Tips for double balloon enteroscopy in patients with Roux-en-Y reconstruction and modified Child surgery.	Shimatani M	消化器肝臓内科
22	Journal of Hepatology 61(3):690-695	IgG4 Cholangiopathy - current concept, diagnosis and pathogenesis	Okazaki K	消化器肝臓内科
23	Journal of gastroenterology 49(9):1299-1306	Hematologic malignancies in the Japanese patients with inflammatory bowel disease.	Fukata N	消化器肝臓内科
24	Journal of gastroenterology 49(6):971-981	TGF- $\beta$ signal shifting between tumor suppression and fibro-carcinogenesis in human chronic liver diseases.	Matsuzaki K,	消化器肝臓内科
25	Journal of gastroenterology 49(4):567-588	Amendment of the Japanese Consensus Guidelines for Autoimmune Pancreatitis, 2013 I. Concept and diagnosis of autoimmune pancreatitis.	Okazaki K	消化器肝臓内科
26	Minerva medica 105(2):109-119	Current concept, diagnosis and pathogenesis of autoimmune pancreatitis as IgG4-related disease.	Okazaki K	消化器肝臓内科
27	Pancreas 43(5):698-703	Retrospective comparison between preoperative diagnosis by International Consensus Diagnostic Criteria and histological diagnosis in patients with focal autoimmune pancreatitis who underwent surgery with suspicion of cancer.	Ikeura T	消化器肝臓内科
28	Pancreatolgy 14(5):373-379	Relationship between autoimmune pancreatitis and pancreatic cancer: A single-center experience.	Ikeura T	消化器肝臓内科
29	Pancreatolgy 14(3):193-200	The role of CD19(+)/CD24(high)/CD38(high) and CD19(+)/CD24(high)/CD27(+) regulatory B cells in patients with type 1 autoimmune pancreatitis.	Sumimoto K	消化器肝臓内科
30	Therapeutic advances in chronic disease 5(3):104-111	Autoimmune pancreatitis: pathogenesis, latest developments and clinical guidance.	Okazaki K	消化器肝臓内科
31	World journal of gastroenterology 20(35):12381-12390	Smad3 phospho-isoform signaling in hepatitis C virus-related chronic liver diseases.	Yamaguchi T	消化器肝臓内科
32	Diseases of the esophagus Aug 29 [Epub ahead of print]	Phosphorylation of Smad2/3 at the specific linker threonine residue indicates slow-cycling esophageal stem-like cells before re-entry to the cell cycle.	Takahashi Y	消化器肝臓内科

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先を全て記載すること。

4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

5 平成二十六年度中の業務報告において当該実績が七十件以上未済の場合には、平成二十六年度の改正前の基準による実績についても報告すること。

## 2. 論文発表等の実績

番号	雑誌名	題名	発表者氏名	発表者の所属
33	Gastrointestinal Endoscopy 81(1):226-227	Reintervention for an occluded metal stent under the guidance of peroral direct cholangioscopy by using an ultra-slim enteroscope.	Ikeura T	消化器肝臓内科
34	Journal of Comprehensive Pediatrics 5(4):e19505	Brain Natriuretic Peptide as a Novel Diagnostic Biomarker in Kawasaki Disease	Kaneko K	小児科
35	Journal of pediatric hematology/oncology 36(3):254-255	Alternating syndrome of inappropriate secretion of antidiuretic hormone and cerebral salt wasting in an infant with brain tumor.	Kaneko K	小児科
36	Kidney international 86(1):208	Soluble urokinase receptor in a toddler with focal segmental glomerulosclerosis.(レターtoエディター)	Kitao T	小児科
37	Leukemia 28(6):1308-1315	CD133 is a positive marker for a distinct class of primitive human cord blood-derived CD34-negative hematopoietic stem cells.	Takahashi M	小児科
38	Recent advancements in pediatrics 1(1):1-6	Cytomegalovirus infection-associated protein-losing gastroenteropathy in children: a case report and review of the literature	Tanabe Y	小児科
39	Immunobiology May 11[Epub ahead of print]	A nuclear factor- $\kappa$ B inhibitor, dehydroxymethylepoxyquinomicin, ameliorates GVHD in allogeneic bone marrow transplantation.	Yamanouchi S	小児科
40	World journal of pediatrics : WJP 11(1):21-28	Pathogenesis of childhood idiopathic nephrotic syndrome: a paradigm shift from T-cells to podocytes.	Kaneko K	小児科
41	The Tohoku journal of experimental medicine 234(4):309-312	A Fatal Case of Infantile Malignant Osteopetrosis Complicated by Pulmonary Arterial Hypertension after Hematopoietic Stem Cell Transplantation.	Kuroyanagi Y	小児科
42	The American surgeon 80(12):1245-1249	Comparison of a flexible-tip laparoscope with a rigid straight laparoscope for single-incision laparoscopic cholecystectomy.	Matsui Y	外科
43	Asian journal of endoscopic surgery 7(3):260-263	Laparoscopic reduced port surgery for schwannoma of the sigmoid colon: A case report.	Tokuhara K	外科
44	Digestive diseases and sciences 59(9):2126-2135	Temporal and spatial dependence of inflammatory biomarkers and suppression by fluvastatin in dextran sodium sulfate-induced rat colitis model.	Oishi M	外科
45	Hepato-gastroenterology 61(135):2028-2034	Higher complication rate in hepatocellular carcinoma patients undergoing prophylactic cholecystectomy with curative hepatic resection.	Kaibori M	外科
46	Journal of hepato-biliary-pancreatic sciences 21(7):473-478	Pancreaticogastrostomy following distal pancreatectomy prevents pancreatic fistula-related complications.	Yanagimoto H	外科
47	Journal of hepato-biliary-pancreatic sciences 21(10):761-766	Improved survival with combined gemcitabine and S-1 for locally advanced pancreatic cancer: pooled analysis of three randomized studies.	Yanagimoto H	外科
48	PLoS ONE 9(9):Article No. e106702	Antibiotic prophylaxis in laparoscopic cholecystectomy: a randomized controlled trial.	Matsui Y	外科

(注)1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先を全て記載すること。

4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

5 平成二十六年度中の業務報告において当該実績が七十件以上未済の場合には、平成二十六年度の改正前の基準による実績についても報告すること。

## 2. 論文発表等の実績

番号	雑誌名	題名	発表者氏名	発表者の所属
49	Surgery 157(1):37-44	Late-onset bile leakage after hepatic resection	Kaibori M	外科
50	JPEN. Journal of parenteral and enteral nutrition Mar 9[Epub ahead of print]	Japanese kampo saireito has a liver-protective effect through the inhibition of inducible nitric oxide synthase induction in primary cultured rat hepatocytes.	Miki H	外科
51	Annals of oncology Apr 23[Epub ahead of print]	FOLFIRI plus bevacizumab as second-line therapy in patients with metastatic colorectal cancer after first-line bevacizumab plus oxaliplatin-based therapy: the randomized phase III EAGLE study.	Iwamoto S	外科
52	Journal of gastrointestinal surgery 19(1):6-14	Reappraisal of peritoneal washing cytology in 984 patients with pancreatic ductal adenocarcinoma who underwent margin-negative resection.	Satoi S	外科
53	The Journal of surgical research 193(2):675-683	Alpha-lipoic acid exerts a liver-protective effect in acute liver injury rats.	Tanaka Y	外科
54	Nitric oxide 44:81-87	pyroGlu-Leu inhibits the induction of inducible nitric oxide synthase in interleukin-1 $\beta$ -stimulated primary cultured rat hepatocytes	Oishi M	外科
55	Surgery 157(1):37-44	Late-onset bile leakage after hepatic resection.	Kaibori M	外科
56	American journal of transplantation 14(6):1425-1432	Distinct expression patterns of alveolar "alarmins" in subtypes of chronic lung allograft dysfunction.	Saito T	胸部心臓血管外科
57	The Annals of thoracic surgery 97(5):1814-1815	Autologous adventitial overlay method reinforces anastomoses in aortic surgery.	Minato N	胸部心臓血管外科
58	Journal of thoracic oncology : official publication of the International Association for the Study of Lung Cancer	The prognostic factor tumor, node, metastasis classification: how helpful is it as a predictive factor of the success of a specific treatment?	Kaneda H	胸部心臓血管外科
59	Lung cancer 85(2):213-217	A decrease in the size of ground glass nodules may indicate the optimal timing for curative surgery.	Kaneda H	胸部心臓血管外科
60	Respiratory investigation 53(1):30-36	Efficacy and long-term clinical outcome of bronchial occlusion with endobronchial Watanabe spigots for persistent air leaks.	Kaneda H	胸部心臓血管外科
61	Biological & pharmaceutical bulletin 37(11):1719-1726	Induction of autoimmune arthritis after direct injection of bone marrow cells from arthritis-prone SKG/Jcl mice into bone cavity of normal mice.	Nakamura T	整形外科
62	Frontiers in cell and developmental biology 2:Article No. 27	Bone marrow cell transplantation efficiently repairs tendon and ligament injuries.	Kushida T	整形外科
63	International orthopaedics 39(1):19-25	Pre-operative scoring system to determine the surgical strategy for periprosthetic hip infection.	Oe K	整形外科
64	European Journal of Plastic Surgery 37(9):461-468	Application of porous hydroxyapatite blocks for maxillofacial deformities	Motoki Katsube	形成外科

(注)1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先を全て記載すること。

4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

5 平成二十六年度中の業務報告において当該実績が七十件以上未満の場合には、平成二十六年度の改正前の基準による実績についても報告すること。

## 2. 論文発表等の実績

番号	雑誌名	題名	発表者氏名	発表者の所属
65	International wound journal 11(2):183-189	An exploratory clinical study on the safety and efficacy of an autologous fibroblast-seeded artificial skin cultured with animal product-free medium in patients with diabetic foot ulcers.	Morimoto N	形成外科
66	Journal of artificial organs 17(4):352-357	Comparison of neovascularization in dermal substitutes seeded with autologous fibroblasts or impregnated with bFGF applied to diabetic foot ulcers using laser Doppler imaging.	Morimoto N	形成外科
67	Journal of stem cell research & therapy 4(5):Article No. 1000204	Potential of adipose-derived stem cells for regeneration medicine: clinical application and usefulness of fat grafting.	Kakudo N	形成外科
68	Medical molecular morphology 47(2):83-89	Platelet-rich plasma releasate promotes angiogenesis in vitro and in vivo.	Kakudo N	形成外科
69	BioMed research international 2015:Article No. 587247	The rapid inactivation of porcine skin by applying high hydrostatic pressure without damaging the extracellular matrix.	Morimoto N	形成外科
70	International wound journal Epub ahead of print	Combined use of fenestrated-type artificial dermis and topical negative pressure wound therapy for the venous leg ulcer of a rheumatoid arthritis patient.	Morimoto N	形成外科
71	Journal of plastic, reconstructive & aesthetic surgery : JPRAS 68(2):286-288	Combined use of fenestrated-type artificial dermis and topical negative-pressure wound therapy to treat the complex wound in the lower leg.	Kuro A	形成外科
72	The Journal of surgical research 195(1):377-383	Effect of aging on the osteoinductive activity of recombinant human bone morphogenetic protein-2 in rats.	Hara T	形成外科
73	Dermatologic therapy 27(4):233-235	Successful treatment with narrow-band UVB therapy for a case of generalized Hailey-Hailey disease with a novel splice-site mutation in ATP2C1 gene.	Mizuno K	皮膚科
74	The Journal of dermatology 41(12):1095-1097	Palmoplantar keratosis in oculodentodigital dysplasia with a GJA1 point mutation out of the C-terminal region of connexin 43.	Kogame T	皮膚科
75	The Journal of dermatology 42(3):330-331	Lupus pernio with 2 years of preceding symptomatic gastric sarcoidosis.	Mizuno K	皮膚科
76	Journal of endourology 28(9):1053-1057	Novel ureteroscopic navigation system with a magnetic tracking device: a preliminary ex vivo evaluation.	Yoshida K	腎泌尿器外科
77	Journal of endourology 28(11):1374-1378	Reliability of laparoscopic skills assessment on video: 8-year results of the endoscopic surgical skill qualification system in Japan.	Matsuda T	腎泌尿器外科
78	Scientific reports 4:Article No. 6175	Bmi1 expression in long-term germ stem cells.	Komai Y	腎泌尿器外科
79	Cardiovascular and interventional radiology 37(6):1606-1610	Intranodal lymphangiogram: technical aspects and findings.	Kariya S	放射線科
80	Journal of gastroenterology and hepatology 29(7):1522-1527	Portopulmonary venous anastomosis in balloon-occluded retrograde transvenous obliteration for the treatment of gastric varices.	Kariya S	放射線科

(注)1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先を全て記載すること。

4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

5 平成二十六年度中の業務報告において当該実績が七十件以上未満の場合には、平成二十六年度の改正前の基準による実績についても報告すること。

## 2. 論文発表等の実績

番号	雑誌名	題名	発表者氏名	発表者の所属
81	Magnetic resonance imaging 32(5):440-445	Diffusion-weighted echo-planar imaging of the head and neck using 3-T MRI: Investigation into the usefulness of liquid perfluorocarbon pads and choice of optimal fat suppression method.	Maehara M	放射線科
82	Minimally invasive therapy & allied technologies 23(4):241-246	Comparison of Tc-99m GSA scintigraphy and CT volumetry for evaluation in portal vein embolization.	Kono Y	放射線科
83	Molecular cancer therapeutics 13(11):2706-2712	Longitudinal time dependent effects of irradiation on multidrug resistance in a non-small lung cancer cell line.	Kono Y	放射線科
84	The British journal of radiology 88(1046):Article No. 20140168	Predictive factors for pericardial effusion identified by heart dose-volume histogram analysis in oesophageal cancer patients treated with chemoradiotherapy.	Hayashi K	放射線科
85	Cardiovascular and interventional radiology Jul 11 [Epub ahead of print]	Balloon-occluded antegrade transvenous sclerotherapy to treat rectal varices: A direct puncture approach to the superior rectal vein through the greater sciatic foramen under ct fluoroscopy guidance.	Ono Y	放射線科
86	EJNMMI research 5:Article No. 11	The effect of radiation exposure on multidrug resistance: in vitro and in vivo studies using non-small lung cancer cells.	Kanno S	放射線科
87	Fertility and sterility 101(6):1781-1790.e1-5	Requirement of heart and neural crest derivatives-expressed transcript 2 during decidualization of human endometrial stromal cells in vitro.	Shindoh H	産婦人科
88	Journal of Obstetrics and Gynaecology Research 40(5):1180-1187	Regulation of decidualization and angiogenesis in the human endometrium: Mini review.	Okada H	産婦人科
89	Anesthesiology 120(6):1523	Hypoxia-inducible factors are already "active" in the Von Hippel-Lindau-deficient renal cell carcinoma-4 cells.	Hirota K	麻酔科
90	Journal of Anesthesia 28(5):803-804	The Wondrous Story of Anesthesia	Shingu K	麻酔科
91	Journal of anesthesia 28(5):681-686	Impact of steroid medication before hospital admission on barotrauma in mechanically ventilated patients with acute respiratory distress syndrome in intensive care units.	Umegaki T	麻酔科
92	Journal of immunotoxicology 12(3):261-265	Intravenous anesthetic propofol suppresses prostaglandin E2 and cyeiteynil leukotresne production and reduces edema formation in arachidonic acid-induced ear inflammaiton	Inada T	麻酔科
93	Cardiovascular&hematological disorders drug targets 15(1):29-40	Involvement of hypoxia-inducible factors in the dysregulation of oxygen homeostasis in sepsis.	Hirota K	麻酔科
94	British journal of cancer 110:1571-1578	RET-rearranged non-small-cell lung carcinoma: a clinicopathological and molecular analysis	Tsuta K	臨床検査医学科
95	Lung cancer 85:12-18	Primary lung adenocarcinoma with morule-like components: A unique histologic hallmark of aggressive behavior and EGFR mutation	Tsuta K	臨床検査医学科
96	Oncology letters 8(2):633-636	Adenocarcinoma with adenoma in the jejunum suggesting an adenoma-carcinoma sequence in the small bowel: A case report.	Nakano Y	臨床検査医学科

(注)1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先を全て記載すること。

4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

5 平成二十六年度中の業務報告において当該実績が七十件以上未済の場合には、平成二十六年度の改正前の基準による実績についても報告すること。

## 2. 論文発表等の実績

番号	雑誌名	題名	発表者氏名	発表者の所属
97	Vascular health and risk management 11:49-53	Validation of two automatic devices for the self-measurement of blood pressure according to the ANSI/AAMI/ISO81060-2:2009 guidelines: the Omron BP765 (HEM-7311-ZSA) and the Omron BP760N (HEM-7320-Z).	Takahashi H	臨床検査医学科
98	Digestive diseases and sciences 60(2):362-374	Phosphorylation of Smad2/3 at specific linker threonine indicates slow-cycling intestinal stem-like cells before reentry to cell cycle.	Kishimoto M	救急医学科
99				
100				
101				
102				
103				
104				
105				
106				
107				
108				
109				
110				
111				
112				

小計  
2合計  
98

(注)1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)

3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先を全て記載すること。

4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

5 平成二十六年度中の業務報告において当該実績が七十件以上未満の場合には、平成二十六年度の改正前の基準による実績についても報告すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1)倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	①・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	①・無
・ 手順書の主な内容 ○申請手続き及び判定の通知 ○研究の実施及び報告 ○有害事象の報告 ○健康被害に対する保障 ○実施制限及び再審査 ○公開	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 4 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2)利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適切な管理措置について検討するための委員会の設置状況	①・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	①・無
・ 規定の主な内容 産学連携活動に伴い発生する利益相反を適切にマネジメントすることに関し必要な事項を定めることにより、本法人及び教職員等の社会的信頼を確保するとともに、もつて教育、研究及び社会への貢献を継続的かつ適切に遂行することを目的としている。	
③ 利益相反を審査し、適切な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 1 回

(3)臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年1回
<p>・研修の主な内容</p> <p>○新指針にともなう倫理講習会受講の義務化について</p> <p>○臨床研究支援センターの役割と活動</p> <p>○新しい「研究倫理指針」で研究責任者・研究者が気をつけたいポイント</p> <p>○治験と臨床研究について</p> <p>○利益相反について</p>	

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

多くの診療各科ではその所属する学会が定める専門医を目指して研修が行われますが、本院では研修の年ごとの具体的目標と研修計画が設定されています。また、研修を円滑に進捗させるため研修進捗状況の把握、評価し問題があれば改善を勧告する後期研修システムを備えています。また、手術支援ロボット ダ・ヴィンチSiの導入など、高度かつ先端的な医療に関する研修をおこなっています。平成25年4月には、本院に直結する新学舎がオープンし、最新の研究室、基本的な医療技術及び医療実践能力の向上を目的としたシュミレーションセンターや電子ジャーナルを取り入れた図書館などを備え研修を最高レベルで一貫して行える体制を整えています。

2 研修の実績

研修医の人数	91 人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
野村 昌作	血液呼吸器膠原病感染症内科	診療部長・主任教授	34 年	
塩島 一朗	循環器腎内分泌代謝内科	診療部長・主任教授	29 年	
岡崎 和一	消化器肝臓内科	診療部長・主任教授	37 年	
福永 幹彦	心療内科	診療部長・主任教授	30 年	
日下 博文	神経内科	診療部長・主任教授	38 年	
奥川 学	精神神経科	診療科長・准教授	22 年	
金子 一成	小児科	診療部長・主任教授	31 年	
権 雅憲	外科	診療部長・主任教授	34 年	
湊 直樹	胸部心臓血管外科	診療部長・主任教授	34 年	
浅井 昭雄	脳神経外科	診療部長・主任教授	34 年	
飯田 寛和	整形外科	診療部長・主任教授	41 年	
長谷 公隆	リハビリテーション科	診療部長・診療教授	30 年	
楠本 健司	形成外科	診療部長・主任教授	35 年	
岡本 祐之	皮膚科	診療部長・主任教授	37 年	
松田 公志	腎泌尿器外科	診療部長・主任教授	37 年	
高橋 寛二	眼科	診療部長・主任教授	31 年	
朝子 幹也	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	診療副部長・准教授	23 年	
谷川 昇	放射線科	診療部長・主任教授	30 年	
岡田 英孝	産婦人科	診療部長・主任教授	22 年	
新宮 興	麻酔科	診療部長・主任教授	42 年	
薦 幸治	臨床検査医学科	診療部長・主任教授	19 年	
植村 芳子	病理診断科	診療部長・診療教授	34 年	
鋏方 安行	救急医学科	診療部長・主任教授	32 年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容：臨床検査セミナー 【臨床検査のピットフォール】 ・研修の期間・実施回数：①平成 26 年 11 月 17 日 ②平成 26 年 12 月 19 日 計 2 回 ・研修の参加人数：①117 名 ②160 名
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

## (様式第 5)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 (2). 現状
管理責任者氏名	病院長 澤田敏
管理担当者氏名	事務部長 川村元伸、看護部長 安田照美、薬剤部長 廣田育彦

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		管理課、各診療科、薬剤部、手術部、各病棟、臨床検査部、病歴情報課、地域医療連携部	・保管部署で管理 ・患者データの抽出は、所定の抽出依頼書に所属部門長の承認を受けた上で医療情報部長へ申請を行う。医療情報部長は利用目的を審査の上患者データの抽出を行う。依頼者は患者データの利用が完了した際には、速やかに依頼者の責任のもと患者データを削除する。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	管理課		
	高度の医療の提供の実績	各診療科		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療科		
	高度の医療の研修の実績	各診療科		
	閲覧実績	病歴情報課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	地域医療連携部		
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部		
	第規一則号第一に掲げる十の十一の第一項の各号及び第九の二十第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況		有
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		有 (34回)
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		有 (24回)
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	有		
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (3名)		
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有		
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有		
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制	有		

		の確保状況		
--	--	-------	--	--

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第一項各号及び第九条の二十三第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	有
		院内感染対策のための委員会の開催状況	有（12回）
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	有（15回）
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	有
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	有
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	有
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	有
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	有（147回）
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	有
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	有

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	②. 現状
閲覧責任者氏名	病院長 澤田 敏	
閲覧担当者氏名	管理課長 杉上 弘之 医事課長 山本 和彦 病歴情報課長 田中 裕子	
閲覧の求めに応じる場所		
閲覧の手続の概要 ・ 閲覧申請書を記入の上、申請窓口である管理課へ提出する。		

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第6)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無																								
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 医療安全管理のための基本方針</li><li>2) 医療安全管理のための委員会その他の組織に関する規程</li><li>3) 医療に係る安全管理のための職員研修に関する基本方針</li><li>4) 医療事故報告等の医療に係る安全確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針</li><li>5) 医療事故発生時の対応に関する基本方針</li><li>6) 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針（患者等に対する当方針の閲覧に関する基本方針を含む）</li><li>7) 患者からの相談への対応に関する基本方針</li><li>8) その他医療安全の推進のための必要な基本方針</li></ol>																									
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年34回																								
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>医療安全管理対策委員会（12回） 医療事故対応委員会（11回） セーフティーマネージャー委員会（11回）</p>																									
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年24回																								
<p>・ 研修の主な内容：</p> <table border="0"><tr><td>○ 静脈内注射、採血などの穿刺による神経損傷</td><td>○ 臨床検査のピットフォール1</td></tr><tr><td>○ 刺股・護身術</td><td>○ 血液型不適合輸血に陥らないためのポイント</td></tr><tr><td>○ 院内で急変患者を発見</td><td>○ 医療安全大会</td></tr><tr><td>○ わかりやすいインフォームドコンセントで紛争0</td><td>○ 臨床検査のピットフォール2</td></tr><tr><td>○ チーム力を高めよう</td><td>○ 事例検討会</td></tr><tr><td>○ ガンと臨床検査</td><td>○ 災害時の病院の対応</td></tr><tr><td>○ 持参薬の管理</td><td>○ 私、患者さんから苦情を申し立てられました</td></tr><tr><td>○ 災害医療研修</td><td>○ 医療訴訟ガイドンス</td></tr><tr><td>○ 苦情と対応</td><td>○ HIVに関する基礎知識と最新情報</td></tr><tr><td>○ やさしく学ぶ急性肺血栓塞栓症</td><td>○ 平成26年度医療安全管理部の取り組みと評価</td></tr><tr><td>○ 医療安全、感染なんでもQ&amp;A</td><td>○ リエゾンで使用される薬剤とその注意点</td></tr><tr><td>○ チームの鎖</td><td>○ B型肝炎の再活性化について</td></tr></table>		○ 静脈内注射、採血などの穿刺による神経損傷	○ 臨床検査のピットフォール1	○ 刺股・護身術	○ 血液型不適合輸血に陥らないためのポイント	○ 院内で急変患者を発見	○ 医療安全大会	○ わかりやすいインフォームドコンセントで紛争0	○ 臨床検査のピットフォール2	○ チーム力を高めよう	○ 事例検討会	○ ガンと臨床検査	○ 災害時の病院の対応	○ 持参薬の管理	○ 私、患者さんから苦情を申し立てられました	○ 災害医療研修	○ 医療訴訟ガイドンス	○ 苦情と対応	○ HIVに関する基礎知識と最新情報	○ やさしく学ぶ急性肺血栓塞栓症	○ 平成26年度医療安全管理部の取り組みと評価	○ 医療安全、感染なんでもQ&A	○ リエゾンで使用される薬剤とその注意点	○ チームの鎖	○ B型肝炎の再活性化について
○ 静脈内注射、採血などの穿刺による神経損傷	○ 臨床検査のピットフォール1																								
○ 刺股・護身術	○ 血液型不適合輸血に陥らないためのポイント																								
○ 院内で急変患者を発見	○ 医療安全大会																								
○ わかりやすいインフォームドコンセントで紛争0	○ 臨床検査のピットフォール2																								
○ チーム力を高めよう	○ 事例検討会																								
○ ガンと臨床検査	○ 災害時の病院の対応																								
○ 持参薬の管理	○ 私、患者さんから苦情を申し立てられました																								
○ 災害医療研修	○ 医療訴訟ガイドンス																								
○ 苦情と対応	○ HIVに関する基礎知識と最新情報																								
○ やさしく学ぶ急性肺血栓塞栓症	○ 平成26年度医療安全管理部の取り組みと評価																								
○ 医療安全、感染なんでもQ&A	○ リエゾンで使用される薬剤とその注意点																								
○ チームの鎖	○ B型肝炎の再活性化について																								
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況																									
<p>・ 医療機関内における事故報告等の整備（有）</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 電子化入力による運用をしており、第1報は全職員、第2報はセーフティーマネージャーが確認の上、入力を行う。</li><li>2) 事故報告等の目的は、「個人を罰する事ではなく事故の再発防止に活用する事である」と定めている。</li><li>3) 報告すべき事項は、療養指導から相談、苦情までの29項目ある。</li><li>4) 報告先は、セーフティーマネージャー、所属部門の部長を経て、医療安全管理部、病院長である。緊急を要する場合は、直接病院長へ報告し指示を受けて対処する。</li><li>5) 医療安全管理部は報告を受けて速やかに内容を把握し、当該のセーフティーマネージャーと分析し、対策を講じる。</li></ol> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 医療安全研修</li><li>2) 技術研修（超音波装置を使用した中心静脈穿刺、刺股警戒杖の取扱い・護身術）</li><li>3) 中途入職者への医療安全に関するオリエンテーション</li></ol>																									

<p>4) セーフティマネージャー会への研修医への出席  5) 毎月1度部署やセーフティマネージャー委員へ配布している医療安全の情報を広報するマンスリーレポートの配布  6) 医療安全管理部のHPによる広報活動  &lt;安全ラウンド&gt;  1) テーマに沿ったセーフティマネージャー委員を交えた院内ラウンド  2) 医療事故発生時、発生部署、関連部署へのラウンド  3) 日本私立医科大学協会による私立医科大学病院相互ラウンド  &lt;改善のための取組み&gt;  1) 医療安全管理マニュアルの年1回の改訂  2) 計画的な医療安全講習会の実施。研修資材に動画を取り入れる等、受講内容が伝わるように取り組んでいる。  3) 医療事故防止策は、セーフティマネージャーが中心となり、時系列と必要に応じてRCA分析を行い、背景要因を明らかにすることで立案している。</p>	
<p>⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況</p>	<p>④ (3名) ・無</p>
<p>⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況</p>	<p>④ (5名) ・無</p>
<p>⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況</p>	<p>④ ・無</p>
<p>・ 所属職員： 専任（ 7 ）名 兼任（ 9 ）名</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>1) 医療安全管理部の業務に関する企画立案及び評価を行う。  2) 院内ラウンドを行い、各部門における医療安全対策の実施状況を把握・分析し、医療安全確保のために必要な業務改善等の具体的な対策を推進する。  3) 各部門における医療事故防止担当者への支援を行う。  4) 医療安全対策の体制確保のための各部門との調整を行う。  5) 医療安全対策に係る体制を確保するための職員研修の企画・実施を行う。  6) 相談窓口等の担当者と密な連携を図り、医療安全対策に係る患者・家族の相談に適切に応じる体制を支援する。  7) 医療安全のネットワーク構築に関すること</p>	
<p>⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況</p>	<p>④ ・無</p>

(様式第 6)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	☑・無
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>I 病院感染対策に関する基本的な考え</li><li>II 感染対策委員会の設置</li><li>III 病院感染対策マニュアル</li><li>IV 感染症の報告</li><li>V 病院感染発生時の対応</li><li>VI 職員研修の基本方針</li><li>VII 患者への指針の公開</li></ul></li></ul>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none"><li>○MRSAおよび多剤耐性菌の検出状況把握と対策</li><li>○抗菌薬の使用状況調査と感受性の推移調査</li><li>○抗菌薬使用報告書、TDM等の抗菌薬適正使用状況調査</li><li>○院内感染発症時の対応、対策</li><li>○感染対策研修会の企画および開催</li><li>○院内ラウンド・サーベイランスの実施</li><li>○血液培養陽性症例ラウンドの実施</li><li>○針刺し事故の発生状況と事故防止対策の検討</li><li>○感染防止対策地域連携、合同カンファレンスでの報告</li><li>○新型インフルエンザ等の対策</li></ul></li></ul>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 1 5 回
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 研修の主な内容： 別紙参照</li></ul>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 病院における発生状況の報告等の整備 ( ☑・無 )</li><li>・ その他の改善のための方策の主な内容： 病棟ラウンド (ICTラウンド内) 時の監査内容のフィードバック 感染対策研修会の開催 (別紙)、DVD上映</li></ul>	

院内感染防止対策研修実施状況（平成26年度実績）

	開催年月日	研 修 会 名	参加者数	備 考
実	H26. 5. 13 H26. 5. 28・29	「標準予防策と感染経路別予防策」「針刺し・血液曝露対策」「ICTラウンド報告」	590	研修会 DVDの上映による伝達 DVD貸出 e-ラーニング
	H26. 5. 14 H26. 5. 19 H26. 5. 26	「病院で働くみなさんに知って頂きたい感染対策」	19	研修会 DVDの上映による伝達 DVD貸出 e-ラーニング
	H26. 6. 5 H26. 6. 17 H26. 6. 18	「耐性菌アウトブレイク事例報告」「正しい検体採取、WEBの見方、検査に関する診療報酬」「結核診療」	519	研修会 DVDの上映による伝達 DVD貸出 e-ラーニング
	H26. 7. 8 H26. 7. 24 H26. 7. 25	「医療廃棄物の取扱い」「感染対策マニュアルの変更点」「消毒薬管理、薬剤師の視点でのICTラウンド」	379	研修会 DVDの上映による伝達 DVD貸出 e-ラーニング
	H26. 7. 16	「感染経路別予防策」	60	研修会 DVDの上映による伝達 DVD貸出 e-ラーニング
	H26. 8. 21	針刺し・血液曝露マニュアル	16	研修会 DVDの上映による伝達 DVD貸出 e-ラーニング
	H26. 9. 2	医療安全・感染対策研修会「医療安全・感染なんでもQ&A」	440	研修会 DVDの上映による伝達 DVD貸出 e-ラーニング
	H26. 11. 20 H26. 12. 3 H26. 12. 4	「血流感染・尿路感染・インフルエンザとノロウイルスが院内で広がる場合」	415	研修会 DVDの上映による伝達 DVD貸出 e-ラーニング
	H26. 12. 15	「医療安全大会」	272	研修会 DVDの上映による伝達 DVD貸出 e-ラーニング
	H26. 12. 19	臨床検査のピットフォール2	160	研修会 DVDの上映による伝達 DVD貸出 e-ラーニング
	H27. 1. 21 H27. 2. 5 H27. 2. 6 H27. 2. 12	「正しい手指消毒・クロストリジウム関連腸炎の検査・MRSA腸炎とクロストリジウム関連腸炎の治療薬」	283	研修会 DVDの上映による伝達 DVD貸出 e-ラーニング
	H27. 2. 9 H27. 2. 16 H27. 2. 18	「輸入感染症について」	114	研修会 DVDの上映による伝達 DVD貸出 e-ラーニング
	H27. 2. 26	「病院職員が知っておくべき感染対策」	83	研修会 DVDの上映による伝達 DVD貸出 e-ラーニング
	H27. 3. 2	「HIV/AIDS研修」	83	研修会 DVDの上映による伝達 DVD貸出 e-ラーニング
	H27. 3. 9	「年間データ報告」	149	研修会 DVDの上映による伝達 DVD貸出 e-ラーニング
績		職場単位でのDVD研修会 (H26. 4からH27. 3まで)	597	研修会 DVDの上映による伝達 DVD貸出 e-ラーニング

4179

e-ラーニングについては、研修会の内容が理解できる解説があり、厚生局へ職員の特定できる資料を提出できるものでなければならない

(様式第 6)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
・ 研修の主な内容： リエゾンで使用される薬剤とその注意点	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 ( ☑・無 ) ・ 業務の主な内容： 医薬品の採用、医薬品の購入、調剤室における医薬品の管理、病棟・各部門への医薬品の供給、外来患者への医薬品使用、病棟における医薬品の管理、入院患者への医薬品使用、医薬品情報の収集・管理・提供、持参薬管理に関する事項、医薬品の安全使用に係る情報の取扱いに関する事項、他施設との連携に関する事項。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 ( ☑・無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 厚生労働省から発出される医薬品・医療機器安全性情報、緊急安全性情報、製薬企業から発出される安全性速報、適正使用情報、添付文書改訂情報等の国内情報に加え、海外規制機関から発出される医薬品安全情報等の収集を行い、院内イントラネットの電子メール使用者すべてに電子メールを発信し、知り得た情報の周知を図っている。	

(様式第 6)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 1 4 7 回
・ 研修の主な内容： 〔前年度実績〕 別紙H26年度医療機器研修参照	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 ( ☑・無 ) ・ 保守点検の主な内容： 〔前年度実績〕 別紙H26年度定期点検結果参照	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 ( ☑・無 ) ・ その他の改善のための方策の主な内容： メーカーや厚生労働省から発信される医療機器安全情報を医療機器安全管理担当者、株式会社日本ステリが収集する。当院に設置（使用）や関係しているものに医用工学センター及び医療機器管理責任者が書面にて連絡をうけ、内容を吟味検討した上で、関連部署職員に向けて書面やメールで情報発信を行っている。また、医用工学センターHP上で医療機器安全情報もupしている。	

平成26年度  
保守点検結果報告

関西医科大学附属枚方病院  
医用工学センター

関西医科大学附属枚方病院 医用工学センター 平成26年度保守点検結果(機器別)

No.	薬事法による分類	一般名	型式	メーカー	管理番号	購入年月日	製造番号	配置部署	保有 台数 (台)	点検 台数 (台)	点検回数 /年(1台 当り)	総点検 回数	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		備考																																	
													予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施		予定	実施	予定	実施																													
1	人工心肺装置及び補助循環装置	人工心肺装置	スタックカート S5	ソーリン	2010-0026-0	2010/11	48E01532	中央手術室	3	3	1	3																																																										
		人工心肺装置	スタックカート S3	ソーリン	2010-0026-3	2010/11	43S03865																																																															
		人工心肺装置	Bio Console 560	メドトロニック	2010-0026-4	2010/11	560B101090																																																															
			心筋保護液供給装置	HCP-5000	泉工医科工業	14-004-001	1996/2	60014	中央手術室	2	2	1	2	機器更新の為廃棄予定																								管理番号14-004-001は 機器更新を行った為 廃棄予定																																
			心筋保護液供給装置	HCP-5000	泉工医科工業	14-004-002	2002/2	220143																																																														
			心筋保護液供給装置	HTS-C	泉工医科工業	14-011-001	2014/11	140096																																		平成26年11月 HTS-Cを1台購入																												
			経皮的人工心肺装置	SP-101	テルモ	ME-I001	2006/1	102006	GICU	1	1	1	1																											平成27年4月 点検実施																														
			大動脈内バルーンポンプ	system98	マック・ジャパン	ME-I004	2000/-	S83269-K9	GICU	3	2	1	2																											管理番号ME-I004は メーカー保守終了のため 平成27年度新規購入予定																														
				CS100	マック・ジャパン	ME-I003	2006/1	SA04321-15	CCU																																		平成27年3月 メーカーによる動作点検実施																											
	CS300	マック・ジャパン		ME-I007	2014/2	S1239282L3	CCU																																																															

関西医科大学附属枚方病院 医用工学センター 平成26年度保守点検結果(機器別)

No.	薬事法による分類	一般名	型式	メーカー	管理番号	購入年月日	製造番号	配置部署	保有 台数 (台)	点検 台数 (台)	点検回数 /年(1台 当り)	総点検 回数	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		備考							
													予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施		予定	実施	予定	実施													
2	人工呼吸器	人工呼吸器①	SABINA(F)	ドレーゲル	ME-C001	2006/1	ARWL0257	MEセンター	21	21	2	42																										平成27年6月 10台点検実施						
			SABINA(S)	ドレーゲル	ME-C002	2006/1	ARWL0103	10N																																				
			SABINA(F)	ドレーゲル	ME-C003	2006/1	ARWL0253	MEセンター																																				
			SABINA(S)	ドレーゲル	ME-C035	2006/1	ARWL0234	12N																																				
			SABINA(F)	ドレーゲル	ME-C036	2006/1	ARWL0274	4N-ICU																																				
			SABINA(F)	ドレーゲル	ME-C042	2006/1	ARWL0275	4N-ICU																																				
			SABINA(F)	ドレーゲル	ME-C044	2006/1	ARWL0277	MEセンター																																				
			SABINA(F)	ドレーゲル	ME-C045	2006/1	ARWL0276	GICU																																				
			SABINA(F)	ドレーゲル	ME-C046	2006/1	ARWL0273	6S																																				
			SABINA(F)	ドレーゲル	ME-C047	2006/1	ARWL0153	9N																																				
			SABINA(F)	ドレーゲル	ME-C048	2006/1	ARWL0268	GICU																																				
			SABINA(F)	ドレーゲル	ME-C063	2006/1	ARWL0071	MEセンター																																				
			SABINA(F)	ドレーゲル	ME-C064	2006/1	ARWM0119	GICU																																				
			SABINA(S)	ドレーゲル	ME-C065	2006/1	ARWL0255	11S																																				
			SABINA(F)	ドレーゲル	ME-C066	2006/1	ARWL0100	GICU																																				
			SABINA(F)	ドレーゲル	ME-C067	2006/1	ARWL0101	GICU																																				
			SABINA(S)	ドレーゲル	ME-C069	2006/1	ARWL0256	MEセンター																																				
			SABINA(S)	ドレーゲル	ME-C070	2006/1	ARWL0235	8S																																				
			SABINA(F)	ドレーゲル	ME-C071	2006/1	ARWL0102	MEセンター																																				
SABINA(F)	ドレーゲル	ME-C072	2006/1	ARWL0254	MEセンター																																							
SABINA(F)	ドレーゲル	ME-C073	2006/1	ARWL0118	CCU																																							

関西医科大学附属枚方病院 医用工学センター 平成26年度保守点検結果(機器別)

No.	薬事法による分類	一般名	型式	メーカー	管理番号	購入年月日	製造番号	配置部署	保有台数 (台)	点検台数 (台)	点検回数 /年(1台 当り)	総点検 回数	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		備考
													予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	
2	人工呼吸器	人工呼吸器①	EVT-4000	ドレーゲル	ME-C004	2006/1	ARWM0243	GICU	16	16	2	32																									平成27年6月 16台点検実施
			EVT-4000	ドレーゲル	ME-C005	2006/1	ARWM0149	7N																													
			EVT-4000	ドレーゲル	ME-C037	2006/1	ARWM0206	4N-ICU																													
			EVT-4000	ドレーゲル	ME-C038	2006/1	ARWM0350	4N-ICU																													
			EVT-4000	ドレーゲル	ME-C039	2006/1	ARWM0207	4N-ICU																													
			EVT-4000	ドレーゲル	ME-C040	2006/1	ARWM0240	4N-ICU																													
			EVT-4000	ドレーゲル	ME-C041	2006/1	ARWM0349	4N-ICU																													
			EVT-4000	ドレーゲル	ME-C043	2006/1	ARWM0241	4N-ICU																													
			EVT-4000	ドレーゲル	ME-C050	2006/1	ARWM0279	GICU																													
			EVT-4000	ドレーゲル	ME-C051	2006/1	ARWM0242	MEセンター																													
			EVT-4000	ドレーゲル	ME-C052	2006/1	ARWM0244	GICU																													
			EVT-4000	ドレーゲル	ME-C056	2006/1	ARWM0203	CCU																													
			EVT-4000	ドレーゲル	ME-C057	2006/1	ARWM0348	CCU																													
			EVT-4000	ドレーゲル	ME-C058	2006/1	ARWM0205	CCU																													
			EVT-4000	ドレーゲル	ME-C059	2006/1	ARWM0204	CCU																													
			EVT-4000	ドレーゲル	ME-C068	2006/1	ARWM0150	GICU																													
			ベネット840	タイコヘルスケア	ME-C053	2006/1	3510053673	GICU	3	3	2	6																								平成27年6月 3台点検実施	
			ベネット840	タイコヘルスケア	ME-C054	2006/1	3510053679																														
			ベネット840	タイコヘルスケア	ME-C055	2006/1	3510053674																														
			Baby log8000PLUS	ドレーゲル	ME-C020	2003/-	ARTF0043	NICU	5	3	2	6																								平成27年6月 3台点検実施  管理番号ME-C023、024は 高額修理の為廃棄予定	
			Baby log8000PLUS	ドレーゲル	ME-C022	2006/1	ARWL0083																														
			Baby log8000PLUS	ドレーゲル	ME-C023	2006/1	ARWL0082						廃棄予定																								
			Baby log8000PLUS	ドレーゲル	ME-C024	2006/1	ARSF0047																														
			Baby log8000PLUS	ドレーゲル	ME-C025	2006/1	ARWL0084																														
			VIP VIRD GOLD	IMI	ME-C034	2005/12	BDN01211						5E	1	1	2	2	臨床使用中止												高額修理の為 機器更新検討中 (臨床使用中止)							

関西医科大学附属枚方病院 医用工学センター 平成26年度保守点検結果(機器別)

No.	薬事法による分類	一般名	型式	メーカー	管理番号	購入年月日	製造番号	配置部署	保有台数 (台)	点検台数 (台)	点検回数 /年(1台 当たり)	総点検 回数	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		備考						
													予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施		予定	実施	予定	実施	予定	実施										
2	人工呼吸器	人工呼吸器②	EVT-XL	ドレーゲル	ME-C079	2010/3	ASBA-0475	GICU	2	2	1	2																							平成27年6月 1台点検実施								
			EVT-XL	ドレーゲル	ME-C087	2012/3	ASDA-0005	GICU																												管理番号ME-C087 3月点検(修理中)							
			BIPAP Vision	フラリップスレスピロニクス	ME-C007	2006/1	120525	MEセンター																													平成27年6月 3台点検実施						
			BIPAP Vision	フラリップスレスピロニクス	ME-C008	2006/1	119011	GICU																																			
			BIPAP Vision	フラリップスレスピロニクス	ME-C0083	2010/2	141206	4N-ICU																																			
			ハミング V	メトラン	ME-C012	2006/1	V7625	NICU																														平成27年7月 1台点検実施					
			ハミング V	メトラン	ME-C017	1999/-	V7305																																				
			ハミング V	メトラン	ME-C026	2001/-	V7385																																				
			ハミング X	メトラン	ME-C080	2011/1	X00112	NICU																													1						
			ENGSTROM CS	GE	ME-C081	2010/2	CBCP01907	4N-ICU																														2					
		ENGSTROM CS	GE	ME-C082	2010/2	CBCP1826																																					
		Trilogy O <sub>2</sub>	フラリップスレスピロニクス	ME-C083	2011/3	TV011012703	MEセンター																													3							
		Trilogy O <sub>2</sub>	フラリップスレスピロニクス	ME-C084	2011/3	TV011012708	GICU																																				
		Trilogy O <sub>2</sub>	フラリップスレスピロニクス	ME-C085	2011/3	TV011012710	GICU																																				
		SPAP	エアウオーター	ME-C075	2009/1	AKN01589	NICU																															1					
		SPAP	エアウオーター	ME-C076	2009/1	AKN01580																																					
		SPAP	エアウオーター	ME-C089	2013/3	BDN01211																																					
		SPAP	エアウオーター	ME-C090	2013/3	BDN01209																																					
		搬送用呼吸器	バラバック 200DMRI	スミスメディカル	ME-C060	2006/1	0509324	初療室 4N-ICU																													平成27年5月 管理番号ME-C060、062 平成27年6月 管理番号ME-C061、077 点検実施						
			バラバック 200DMRI	スミスメディカル	ME-C061	2006/1	0510331																																				
バラバック 200DMRI	スミスメディカル		ME-C062	2006/1	0509323																																						
バラバック 200DMRI	スミスメディカル		ME-C077	2007/-	0709199																																						
Oxylog 2000	ドレーゲル		ME-C078	2006/1	SRWJ-0003																														平成27年4月 1台点検実施								
ハミルトン	日本光電		ME-C088	2013/2	2183	GICU																													1								
ハミルトン	日本光電	ME-C091	2013/6	3725	救命																												1										
呼吸補助機	呼吸補助器	インファントフロー	ダイオー	ME-C014	2002/-	060176	NICU	6	3	1	3	機器更新の為廃棄予定																												管理番号ME-C014、030、 031機器更新を行った為 廃棄予定 (平成27年4月SINDIIに更 新)			
		インファントフロー	ダイオー	ME-C015	2003/-	07606																																1					
		インファントフロー	ダイオー	ME-C016	2002/-	06174																																	1				
		インファントフロー	ダイオー	ME-C028	2006/1	AFN01077																																	1				
		インファントフロー	ダイオー	ME-C030	2000/3	03434						機器更新の為廃棄予定																													平成27年4月 1台点検実施		
		インファントフロー	ダイオー	ME-C031	2000/2	03402						機器更新の為廃棄予定																														1/FDCサービスキット 販売供給終了	

関西医科大学附属枚方病院 医用工学センター 平成26年度保守点検結果(機器別)

No.	薬事法による分類	一般名	型式	メーカー	管理番号	購入年月日	製造番号	配置部署	保有台数 (台)	点検台数 (台)	点検回数 /年(1台 当り)	総点検 回数	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		備考
													予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	
3	血液浄化装置	血液浄化装置	TR-3000M	東レメディカル	ME-H001	2006/1	B5H063	人工透析室	14	4	1	4	廃棄予定  機器更新の為廃棄																								管理番号ME-H001、002 廃棄予定  平成27年1月 管理番号ME-H003～009、014 機器更新の為廃棄  平成27年1月に納入予定であった NCV-3が販売延期の為、 デモ機としてNCV-2を メーカーより8台借用 (NCV-2は納入時メーカー点検実施)
			TR-3000M	東レメディカル	ME-H002	2006/1	B5H073																														
			TR-3000M	東レメディカル	ME-H003	2006/1	B5H074																														
			TR-3000M	東レメディカル	ME-H004	2006/1	B5H075																														
			TR-3000M	東レメディカル	ME-H005	2006/1	B5H076																														
			TR-3000M	東レメディカル	ME-H006	2006/1	B5H077																														
			TR-3000M	東レメディカル	ME-H007	2006/1	B5H078																														
			TR-2000S	東レメディカル	ME-H008	2006/1	A23C11																														
			TR-2000S	東レメディカル	ME-H009	2001/-	A14C27																														
			TR-7000M	東レメディカル	ME-H014	2006/1	A5XA18																														
		TR-7000S	東レメディカル	ME-H025	2006/1	A59B05	4N-ICU																														
		TR-3000S	東レメディカル	ME-H023	2011/3	C1A050	GIGU																														
		TR-3000S	東レメディカル	ME-H026	2011/3	C1A051	4N-ICU																														
		TR-3000S	東レメディカル	ME-H028	2011/3	C1A052	CCU																														
		NCV-10	ニプロ	10-016-001	2015/1	14CA0529	血液浄化センター	2	2	1	2	平成27年1月 NCV-10を2台購入																									
		NCV-10	ニプロ	10-016-002	2015/1	14CA0530	血液浄化センター	2	2	1	2	平成27年1月 NCV-10を2台購入																									
		JUN-505	循研	ME-H017	2006/1	UA145	人工透析室	4N-ICU	8	8	1	8	平成27年3月 JUN-505はメーカー修理対応終了 (動作点検のみ)																								
JUN-505	循研	ME-H018	2006/1	UA144																																	
JUN-505	循研	ME-H019	2006/1	UA143	4N-ICU	GIGU	8	8	1	8	平成27年6月 JUN-505を 2台点検実施																										
JUN-505	循研	ME-H020	2006/1	UA147																																	
JUN-55X	循研	ME-H029	2009/3	UC085	GIGU	CCU	8	8	1	8	平成27年6月 JUN-505を 2台点検実施																										
JUN-505	循研	ME-H021	2006/1	UA146																																	
JUN-505	循研	ME-H022	2006/1	UA160	CCU	GIGU	8	8	1	8	平成27年6月 JUN-505を 2台点検実施																										
JUN-55X	循研	ME-H30	2013/1	UC212																																	

関西医科大学附属枚方病院 医用工学センター 平成26年度保守点検結果(機器別)

No.	薬事法による分類	一般名	型式	メーカー	管理番号	購入年月日	製造番号	配置部署	保有台数 (台)	点検台数 (台)	点検回数 /年(1台 当たり)	総点検 回数	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		備考								
													予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施																					
4	除細動装置	除細動装置	TEC-7731	日本光電	ME-F002	2006/1	00076	初療室	26	30	2	60																									平成27年4月 6台点検実施								
			TEC-6100	日本光電	ME-F003	2006/1	04399	健康科学センター																																					
			TEC-7731	日本光電	ME-F004	2006/1	00113	CCU																																					
			TEC-7731	日本光電	ME-F005	2006/1	00123	CCU																																					
			TEC-7731	日本光電	ME-F006	2006/1	00127	CCU																																					
			TEC-7731	日本光電	ME-F007	2006/1	00112	CCU																																					
			TEC-7731	日本光電	ME-F008	2006/1	00126	GICU																																					
			TEC-2312	日本光電	ME-F009	2006/1	10170	ドクターカー																																					
			TEC-7731	日本光電	ME-F010	2006/1	00077	4N-ICU																																					
			TEC-7731	日本光電	ME-F011	2006/1	00124	手術室																																					
			TEC-6100	日本光電	ME-F012	2006/1	04390	MFICU																																					
			TEC-6100	日本光電	ME-F013	2006/1	04398	こども病棟																																					
			TEC-7721	日本光電	ME-F014	2006/1	00022	9S																																					
			TEC-7721	日本光電	ME-F015	2006/1	00037	7N																																					
			TEC-6100	日本光電	ME-F016	2006/1	04402	11N																																					
			TEC-7721	日本光電	ME-F017	2006/1	00004	中央検査部																																					
			TEC-6100	日本光電	ME-F018	2006/1	0014	核医学																																					
			TEC-6100	日本光電	ME-F019	2006/1	04395	12S																																					
			TEC-6100	日本光電	ME-F020	2006/1	04400	8S																																					
			TEC-7731	日本光電	ME-F026	2006/1	00128	手術室																																					
			TEC-6100	日本光電	ME-F027	2006/1	04401	10N																																					
			TEC-7731	日本光電	ME-F028	2006/1	00125	6N																																					
			TEC-2312	日本光電	ME-F030	2007/1	10271	ドクターカー																																					
			TEC-5521	日本光電	ME-F031	2011/1	00974	IVR																																					
			TEC-5531	日本光電	ME-F032	2012/11	02240	6S																																					
			TEC-5521	日本光電	ME-F033	2012/4	01663	内視鏡センター																																					
TEC-5531	日本光電	ME-F034	2014/4	03588	シミュレーションセンター																																								
TEC-5531	日本光電	ME-F035	2014/4	02113	血液浄化センター																																								
TEC-5521	日本光電	ME-F036	2014/4	02094	化学療法センター																																								
TEC-5521	日本光電	ME-F037	2014/4	02031	こども館																																								

管理番号  
ME-F034 シミュレーションセンター  
ME-F035 血液浄化センター  
ME-F036 化学療法センター  
ME-F037 こども館  
合計4台は平成26年12月追加で点検を実施。



関西医科大学附属枚方病院 医用工学センター 平成26年度保守点検結果(その他)

No.	業務法による分類	一般名	部署	保有台数(台)	点検回数(台)	点検回数/保有(台当り)	設置台数	メーカー	点検状況	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		備考
										予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	
1	自浄器並びに自動洗浄呼吸器及びガス吸引管のうち、自浄器	自浄器	手術室、他	21	22	2	44	メーカー	ME																								平成27年4月 3台点検実施  平成27年8月 22台点検実施 ※2014年1月に購入したマビウスプラス含む	
2	電気手術機	電気メス	手術室	22	25	2	50	ME																									Force FX-O 管理番号ME-J016は修理不能の為廃棄予定  管理番号 ME-J023 手術室 ME-J024 手術室 ME-J025 手術室 ME-J026 手術室  上記4台は平成28年8月 追加で点検を実施。	
3	輸液ポンプ	輸液ポンプ	中央管理(MEセンター)	296	297	1	357	ME				15	27	20	57	257	78	34	7	2	3	7	4										3台は検査中の為、点検予定 39台は臨床使用しない(備保管分)為、点検予定なし	
4	輸液ポンプ	シリンジポンプ	中央管理(MEセンター)	330	308	1	308	ME				1	17	42	140	306	65	27	4	1													平成27年4月 1台点検実施  平成27年8月 24台点検実施 24台廃棄予定 4台検査中の為点検予定	
5	輸液ポンプ	TOIポンプ	手術室	9	11	2	22	ME					9	2																			平成27年8月 11台点検実施  平成28年8月 管理番号 ME-B184、185 手術室 新規購入	
6	輸液ポンプ	小型シリンジポンプ	中央管理(MEセンター) ペイン科系	18	18	2	32	ME					16																				平成27年8月 16台点検実施	
7	輸液ポンプ	汎用輸液ポンプ(GADD)	中央管理(MEセンター)	2	2	1	2	メーカー					2																				平成27年8月 2台点検実施	
8	ペースメーカー	ペースメーカー(DDD436)	各部署	6	6	1	6	メーカー								8																	平成27年4月 1台点検実施  平成27年8月 2台点検実施	
9	ペースメーカー	ペースメーカー(SBS348)	各部署	3	3	1	3	メーカー								3																	平成27年4月 2台点検実施	
10	頸次型電気圧式マッサージ器	SCD700シリーズ	中央管理(MEセンター)	20	20	1	20	ME																									平成27年4月 3台点検実施	
合計				727			744			0	0	0	16	22	44	52	62	2	222	574	143	0	61	0	12	22	5	27	12	25	54	20	40	

●毎月の点検回数は目安であり、機器の使用状況によって変更することがあります。

●輸液ポンプ・シリンジポンプは、代替と交換しながら点検を行います。

●新規購入機器の点検日程は変更することがあります。

●各部署、メーカーと日程に関して打ち合わせが必要なものは、日程を変更することがあります。

メモ

その種	メーカー	状況

## 平成26年度 医療機器研修一覧

ID	日付	曜日	記載者	研修場所	研修種類	分類	対象ME機器	医師	看護師	医技職	その他	研修内容	主催	研修時間	時間2	講師
896	2014/4/2	水	山口	学舎3階シミュレーションセンター	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器 ④除細動器	TEC-7731 ザビーナ			2	47	1年次研修除細動器、人工呼吸器取扱い説明(実機説明)	卒後研修センター MEセンター	10:00	17:00	山口、大能
897	2014/4/5	土	山口	手術室R1	②院内ME機器研修	②人工呼吸器	麻酔器(ファビウス)			1	3	麻酔科より依頼、ローテーション研修医に対する人工呼吸器使用説明(実機説明)	MEセンター	9:30	10:30	山口
894	2014/5/8	木	山口	13階講堂	①特定機能病院定期研修	④除細動装置(AEDを除く)	TEC-7731		46	1		フィジカルアセスメントⅠBLS研修除細動器取扱い説明(実機説明)	看護部教育委員会 MEセンター	12:30	13:30	山口
895	2014/5/9	金	山口	13階講堂	①特定機能病院定期研修	④除細動装置(AEDを除く)	TEC-7731		49	1		フィジカルアセスメントⅠBLS研修除細動器取扱い説明(実機説明)	看護部教育委員会 MEセンター	12:45	13:30	山口
898	2014/5/17	土	山口	手術室R1	②院内ME機器研修	②人工呼吸器	麻酔器(ファビウス)			1	2	麻酔科より依頼、ローテーション研修医に対する人工呼吸器使用説明(実機説明)	MEセンター	9:30	10:30	山口
900	2014/5/17	土	山口	手術室カンファレンスルーム	①特定機能病院定期研修	①人工心肺装置及び補助循環装置	人工心肺装置(S5)				8	体外循環について、人工心肺装置取扱い説明	ソーリン MEセンター	11:00	12:00	ソーリン
901	2014/5/21	水	山口	手術室R10	②院内ME機器研修	⑥その他のME機器	電気刺激治療機(アード、バイオ) CUSA		11	1		手術室看護師より依頼、医療機器新人オリエンテーション	MEセンター	13:00	16:00	山口
904	2014/5/26	月	山口	手術室R16	②院内ME機器研修	⑥その他のME機器	シリンジポンプ PDE		11	1		手術室看護師より依頼、医療機器新人オリエンテーション	MEセンター	13:00	16:00	山口
903	2014/5/29	木	山口	4N	②院内ME機器研修	②人工呼吸器	ザビーナ エビタ パラパック		5	4		4NICUより依頼、1年次看護師に対する人工呼吸器使用説明(実機説明)	MEセンター	15:00	16:00	宮野
907	2014/6/6	金	山口	13階合同カンファレンスルーム	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器 ④除細動器	ザビーナ TEC-7731	1	129	8		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	11:40	13:10	大能、高橋
905	2014/6/7	土	山口	手術室R1	②院内ME機器研修	②人工呼吸器	麻酔器(ファビウス)			1	3	麻酔科より依頼、ローテーション研修医に対する人工呼吸器使用説明(実機説明)	MEセンター	10:00	10:30	山口
909	2014/6/10	火	山口	手術室R1	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器 ④除細動器	麻酔器(ファビウス) TEC-7731		37	2		手術室看護師より依頼、人工呼吸器、除細動器取扱い説明(実機説明)	MEセンター	17:00	18:00	山口
906	2014/6/20	金	山口	13階合同カンファレンスルーム	①特定機能病院定期研修	③血液浄化装置	TR-3000S JUN-505、55X		11	7		血液浄化装置取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	11:40	13:10	宇土
910	2014/6/25	水	山口	13階講堂	①特定機能病院定期研修	④除細動装置(AEDを除く)	TEC-7731		34	2		フィジカルアセスメントⅡ急変対応除細動器取扱い説明(実機説明)	看護部教育委員会 MEセンター	13:50	14:20	山口
911	2014/6/26	木	山口	13階講堂	①特定機能病院定期研修	④除細動装置(AEDを除く)	TEC-7731		32	2		フィジカルアセスメントⅡ急変対応除細動器取扱い説明(実機説明)	看護部教育委員会 MEセンター	13:50	14:20	山口
912	2014/6/27	金	山口	13階講堂	①特定機能病院定期研修	④除細動装置(AEDを除く)	TEC-7731		34	2		フィジカルアセスメントⅡ急変対応除細動器取扱い説明(実機説明)	看護部教育委員会 MEセンター	14:00	14:30	山口

ID	日付	曜日	記載者	研修場所	研修種類	分類	対象ME機器	医師	看護師	医技職	その他	研修内容	主催	研修時間	時間2	講師
908	2014/7/5	土	山口	手術室R1	②院内ME機器研修	②人工呼吸器	麻酔器(ファビウス)			1	2	麻酔科より依頼、ローテーション研修医に対する人工呼吸器使用説明(実機説明)	MEセンター	9:30	10:00	山口
918	2014/7/10	木	山口	6S	②院内ME機器研修	②人工呼吸器	ザビーナ		12	3		6S看護師より依頼、呼吸器インシデント事例における人工呼吸器研修	MEセンター	17:15	18:00	大能
914	2014/7/19	土	山口	手術カンファレンスルーム	①特定機能病院定期研修	①人工心肺装置及び補助循環装置	心筋保護装置			6		心筋保護装置取扱い説明、心筋保護法について	コスモテック(株)	11:00	12:30	
919	2014/7/19	土	山口	学舎3階シミュレーションセンター	②院内ME機器研修	⑥その他のME機器	シリンジ、輸液ポンプ			1	6	卒後研修センターより依頼、シリンジ・輸液ポンプ取扱い説明	卒後研修センター	14:15	15:05	山口
964	2014/7/25	金	山口	NICU	②院内ME機器研修	②人工呼吸器	DPAP、SIPAP		6	3		NICUより依頼、看護師に対する人工呼吸器使用説明(実機説明)	MEセンター	14:00	14:40	茂谷
920	2014/8/2	土	山口	手術室R1	②院内ME機器研修	②人工呼吸器	麻酔器(ファビウス)			1	3	麻酔科より依頼、ローテーション研修医に対する人工呼吸器使用説明(実機説明)	MEセンター	9:30	10:00	山口
921	2014/9/6	土	山口	手術室R1	②院内ME機器研修	②人工呼吸器	麻酔器(ファビウス)			1	2	麻酔科より依頼、ローテーション研修医に対する人工呼吸器使用説明(実機説明)	MEセンター	9:30	10:30	山口
922	2014/10/1	水	山口	麻酔科カンファレンスルーム	①特定機能病院定期研修	③血液浄化装置	TR-3000S、JUN-505		11	1		血液浄化装置取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	13:45	衣川
923	2014/10/1	水	山口	12Sスタッフトレーション	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器④除細動器	ザビーナ、TEC-6100		7	3		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	14:00	14:30	斎藤、清水
924	2014/10/2	木	山口	12Nスタッフトレーション	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器④除細動器	ザビーナ、TEC-6100		13	3		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	14:00	14:30	大能、宇土
925	2014/10/4	土	山口	手術室R1	②院内ME機器研修	②人工呼吸器	麻酔器(ファビウス)			1	2	麻酔科より依頼、ローテーション研修医に対する人工呼吸器使用説明(実機説明)	MEセンター	10:30	11:20	岩井
929	2014/10/7	火	山口	ブレイン処置室	①特定機能病院定期研修	④除細動装置(AEDを除く)	TEC-5521		2	1		除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	16:10	16:25	高橋
930	2014/10/7	火	山口	アンギオ(IVR)	①特定機能病院定期研修	④除細動装置(AEDを除く)	TEC-5521		7	1		除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	16:30	17:00	高橋
926	2014/10/8	水	山口	4N	①特定機能病院定期研修	③血液浄化装置	TR-3000、7000S、TW-P JUN-505		12	1		血液浄化装置取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:40	14:00	宇土
927	2014/10/8	水	山口	11S	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器④除細動器	ザビーナ、TEC-6100		5	4		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	14:00	大能、清水
928	2014/10/10	金	山口	11N	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器④除細動器	ザビーナ、TEC-6100		9	5		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	14:00	大能、清水
933	2014/10/14	火	山口	消化器、呼吸器外来	①特定機能病院定期研修	④除細動装置(AEDを除く)	TEC-5521		4	1		除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	16:10	16:30	高橋
934	2014/10/14	火	山口	内視鏡センター	①特定機能病院定期研修	④除細動装置(AEDを除く)	TEC-5521		6	1		除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	16:30	16:40	高橋
931	2014/10/15	水	山口	10S	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器④除細動器	ザビーナ、TEC-6100		13	4		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	14:00	大能、斎藤

ID	日付	曜日	記載者	研修場所	研修種類	分類	対象ME機器	医師	看護師	医技職	その他	研修内容	主催	研修時間	時間2	講師
932	2014/10/15	水	山口	CCU	①特定機能病院定期研修	③血液浄化装置	TR-3000、7000S、TW-P JUN-505		8	2		血液浄化装置取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	13:50	衣川
935	2014/10/16	木	山口	10N	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器④除細動器	ザビーナ、TEC-6100		10	2		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	14:00	斎藤
948	2014/10/20	月	山口	GICU	①特定機能病院定期研修	①人工心肺装置及び補助循環装置④除細動装置(AEDを除く)	PCPS、IABP		15	1		PCPS、IABP取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	14:00	14:30	清水
938	2014/10/21	火	山口	化学療法センター	①特定機能病院定期研修	④除細動装置(AEDを除く)	TEC-5521		2	2		除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	16:10	16:30	矢野
936	2014/10/22	水	山口	9N	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器④除細動器	ザビーナ、TEC-6100		12	3		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	14:00	大能、高橋
937	2014/10/23	木	山口	9S	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器④除細動器	ザビーナ、TEC-6100		14	4		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	14:00	斎藤、矢野
939	2014/10/28	火	山口	女性診療	①特定機能病院定期研修	④除細動装置(AEDを除く)	TEC-5521		3	1		除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	16:30	16:40	高橋
940	2014/10/28	火	山口	CCU	①特定機能病院定期研修	①人工心肺装置及び補助循環装置④除細動装置(AEDを除く)	IABP、PCPS		8	1		IABP、PCPS取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:40	14:10	茂谷
941	2014/10/28	火	山口	腎泌尿器	①特定機能病院定期研修	④除細動装置(AEDを除く)	TEC-5521		8	1		除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	16:10	16:20	高橋
942	2014/10/29	水	山口	8S	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器④除細動器	ザビーナ、TEC-6100		11	4		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	14:00	矢野、茂谷
943	2014/10/30	木	山口	8N	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器④除細動器	ザビーナ、TEC-6100		11	4		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:45	14:15	斎藤、大能
944	2014/11/1	土	山口	手術室R4	②院内ME機器研修	②人工呼吸器	麻酔器(ファビウス)			1	4	麻酔科より依頼、ローテーション研修医に対する人工呼吸器使用説明(実機説明)	MEセンター	10:30	11:00	岩井
945	2014/11/4	火	山口	整形外科	①特定機能病院定期研修	④除細動装置(AEDを除く)	TEC-5521		2	2		除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	16:30	16:40	高橋
946	2014/11/5	水	山口	GICU	①特定機能病院定期研修	③血液浄化装置	TR-3000、7000S、TW-P JUN-505		9	1		血液浄化装置取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	13:45	宇土
947	2014/11/5	水	山口	7S	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器④除細動器	ザビーナ、TEC-6100		13	4		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	14:00	茂谷、高橋
949	2014/11/7	金	山口	7N	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器④除細動器	TEC-7731 ザビーナ		15	4		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:45	14:05	斎藤、清水
983	2014/11/11	火	山口	こども館	①特定機能病院定期研修	④除細動装置(AEDを除く)	TEC-5521		3	1		除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	16:10	16:30	矢野
984	2014/11/11	火	山口	血液腫瘍内科	①特定機能病院定期研修	④除細動装置(AEDを除く)	TEC-5521		4	1		除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	16:30	16:50	矢野
950	2014/11/12	水	山口	6S	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器④除細動器	TEC-7731 ザビーナ		6	4		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	14:00	14:30	矢野、大能

ID	日付	曜日	記載者	研修場所	研修種類	分類	対象ME機器	医師	看護師	医技職	その他	研修内容	主催	研修時間	時間2	講師
952	2014/11/12	水	山口	4NICU	①特定機能病院定期研修	③血液浄化装置	TR-3000S JUN-505、55X		8	1		血液浄化装置取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:35	13:50	宇土
956	2014/11/13	木	山口	6N	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器④除細動器	TEC-7731 ザビーナ		11	3		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	14:00	斎藤、宮野
957	2014/11/15	土	山口	手術室ナースラウンジ	①特定機能病院定期研修	①人工心肺装置及び補助循環装置	人工心肺装置、心筋保護		29	4		人工心肺装置取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	8:30	9:00	岩井
958	2014/11/17	月	山口	4N	①特定機能病院定期研修	③血液浄化装置	TR-3000S JUN-505、55X		8	2		血液浄化装置取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	15:10	15:50	衣川
959	2014/11/18	火	山口	循環器外来	①特定機能病院定期研修	④除細動装置(AEDを除く)	TEC-7731		1	1		除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	16:10	16:20	斎藤
960	2014/11/18	火	山口	皮膚科外来	①特定機能病院定期研修	④除細動装置(AEDを除く)	TEC-7731		2	1		除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	16:30	16:40	斎藤
961	2014/11/19	水	山口	5E	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器④除細動器	TEC-7731 ザビーナ		6	3		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	14:00	斎藤、大能
962	2014/11/19	水	山口	CCU	①特定機能病院定期研修	③血液浄化装置	TR-3000S JUN-505、55X		2	1		血液浄化装置取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	14:00	衣川
965	2014/11/19	水	山口	NICU	②院内ME機器研修	②人工呼吸器	DPAP、SIPAP		5	1		NICUより依頼、看護師に対する人工呼吸器使用説明(実機説明)	MEセンター	16:00	16:20	斎藤
963	2014/11/20	木	山口	5N	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器④除細動器	TEC-7731 ザビーナ		12	3		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	14:00	矢野、斎藤
966	2014/11/25	火	山口	眼科外来	①特定機能病院定期研修	④除細動装置(AEDを除く)	TEC-7731		2	1		除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	16:10	16:30	矢野
967	2014/11/25	火	山口	耳鼻科外来	①特定機能病院定期研修	④除細動装置(AEDを除く)	TEC-7731		2	1		除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	16:30	16:50	矢野
968	2014/11/26	水	山口	GICU	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器④除細動器	TEC-7731 ザビーナ		8	2		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:40	14:10	高橋、茂谷
969	2014/11/27	木	山口	4N	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器④除細動器	TEC-7731 ザビーナ		11	3		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	14:00	大能、斎藤
970	2014/11/29	土	山口	手術室ナースラウンジ	①特定機能病院定期研修	①人工心肺装置及び補助循環装置	人工心肺装置、心筋保護		19	2		人工心肺装置取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	12:00	13:30	岩井
971	2014/12/2	火	山口	GICU	①特定機能病院定期研修	①人工心肺装置及び補助循環装置④除細動装置	IABP、PCPS	3	8	2		補助循環装置取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:40	14:10	茂谷
972	2014/12/2	火	山口	ブレイン	①特定機能病院定期研修	④除細動装置(AEDを除く)	TEC-5521		7	1		除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	15:10	15:30	山口
985	2014/12/2	火	山口	ブレイン	①特定機能病院定期研修	④除細動装置(AEDを除く)	TEC-5521		7	1		除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	15:10	15:30	矢野
973	2014/12/3	水	山口	CCU	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器④除細動器	TEC-7731 ザビーナ		5	4		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター			矢野、宮野

ID	日付	曜日	記載者	研修場所	研修種類	分類	対象ME機器	医師	看護師	医技職	その他	研修内容	主催	研修時間	時間2	講師
974	2014/12/3	水	山口	GICU	①特定機能病院定期研修	③血液浄化装置	TR-3000S JUN-505、55X		6	1		血液浄化装置取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	14:00	衣川
975	2014/12/4	木	山口	NICU	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器④除細動器	TEC-7731 ザビーナ		15	3		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	14:00	14:30	大能、斎藤
982	2014/12/6	土	山口	手術室R1	②院内ME機器研修	②人工呼吸器	麻酔器(ファビウス)				4	麻酔科より依頼、ローテーション研修医に対する人工呼吸器使用説明(実機説明)	MEセンター	10:30	11:00	山口
976	2014/12/9	火	山口	CCU	①特定機能病院定期研修	①人工心肺装置及び補助循環装置	IABP、PCPS		3	2		補助循環装置取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	14:00	宮野
977	2014/12/9	火	山口	消化器、呼吸器外来	①特定機能病院定期研修	④除細動装置(AEDを除く)	TEC-5521		4	1		除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	16:10	16:35	矢野
978	2014/12/9	火	山口	内視鏡センター	①特定機能病院定期研修	④除細動装置(AEDを除く)	TEC-5521		14	1		除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	15:05	15:25	矢野
979	2014/12/10	水	山口	4N	①特定機能病院定期研修	③血液浄化装置	TR-3000S JUN-505、55X		6	2		血液浄化装置取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:35	14:05	衣川
980	2014/12/10	水	山口	12S	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器④除細動器	TEC-7731 ザビーナ		7	3		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	14:00	大能、矢野
981	2014/12/11	木	山口	12N	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器④除細動器	TEC-7731 ザビーナ		7	4		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:50	14:20	大能、斎藤
986	2014/12/16	火	山口	化学療法センター	①特定機能病院定期研修	④除細動装置(AEDを除く)	TEC-5521		4	2		除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	16:00	16:30	高橋
987	2014/12/17	水	山口	11S	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器④除細動器	TEC-7731 ザビーナ		9	3		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	14:00	高橋、大能
988	2014/12/17	水	山口	CCU	①特定機能病院定期研修	③血液浄化装置	TR-3000S JUN-505、55X		4	1		血液浄化装置取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	15:35	15:50	宇土
1001	2014/12/18	木	山口	MEセンター	①特定機能病院定期研修	①人工心肺装置及び補助循環装置	心筋保護装置(TRUSYS)			2		心筋保護装置(新規購入)取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	泉工医科工業株式会社	10:00	10:30	
989	2014/12/19	金	山口	5E	②院内ME機器研修	②人工呼吸器	人工呼吸器全般 ザビーナ、エビタ、ベネット		10	1		インシデント対策研修会	MEセンター	14:00	14:30	斎藤
990	2014/12/19	金	山口	11N	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器④除細動器	TEC-7731 ザビーナ		8	2		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	14:00	斎藤
991	2014/12/19	金	山口	血液浄化センター	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器④除細動器	TEC-7731 ザビーナ		4	3		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	14:30	14:40	衣川
992	2014/12/19	金	山口	血液浄化センター	①特定機能病院定期研修	③血液浄化装置	TR-3000S JUN-505、55X		5	3		血液浄化装置取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	14:40	14:50	衣川
993	2014/12/22	月	山口	5E	②院内ME機器研修	②人工呼吸器	人工呼吸器全般 ザビーナ、エビタ、ベネット		5	3		インシデント対策研修会	MEセンター	14:00	14:30	宮野
994	2014/12/24	水	山口	10S	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器④除細動器	TEC-7731 ザビーナ		10	3		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	14:00	高橋、斎藤

ID	日付	曜日	記載者	研修場所	研修種類	分類	対象ME機器	医師	看護師	医技職	その他	研修内容	主催	研修時間	時間2	講師
995	2014/12/25	木	山口	10N	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器 ④除細動器	TEC-7731 ザビーナ		9	2		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	14:00	大能、斎藤
1000	2015/1/5	月	山口	手術室R8	②院内ME機器研修	⑥その他のME機器	シリッジポンプ、 輸液ポンプ、TCI ポンプ		15	4		シリッジ、輸液ポンプ取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	14:00	15:30	山口
996	2015/1/7	水	山口	9N	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器 ④除細動器	TEC-7731 ザビーナ		10	3		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	14:00	大能、斎藤
997	2015/1/8	木	山口	9S	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器 ④除細動器	TEC-7731 ザビーナ		12	3		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	14:00	高橋、大能
998	2015/1/14	水	山口	8S	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器 ④除細動器	TEC-7731 ザビーナ		10	2		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	14:00	斎藤、大能
999	2015/1/15	木	山口	8N	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器 ④除細動器	TEC-7731 ザビーナ		15	4		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:45	14:15	高橋、斎藤
1002	2015/1/20		山口	麻酔科カンファレンスルーム	①特定機能病院定期研修	①人工心肺装置及び補助循環装置	心保護装置 (TRUSYS)			9		心筋保護装置(新規購入)取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	泉工医科工業株式会社	15:10	16:00	
1003	2015/1/21	水	山口	GICUナースステーション	①特定機能病院定期研修	③血液浄化装置	TR-3000S JUN-505、55X		4	1		血液浄化装置取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:35	13:50	衣川
1004	2015/1/21	水	山口	7S	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器 ④除細動器	TEC-7731 ザビーナ		14	3		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	14:00	斎藤、大能
1006	2015/1/23	金	山口	7N	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器 ④除細動器	TEC-7731 ザビーナ		7	2		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:45	14:15	高橋、斎藤
1005	2015/1/24	土	山口	血液浄化センター	①特定機能病院定期研修	③血液浄化装置	NCV-2			3		血液浄化装置(新規購入)取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	14:00	14:30	衣川、山本
1007	2015/1/26	月	山口	5E	②院内ME機器研修	②人工呼吸器	ザビーナ、エビタ4、ベネット840		6	1		インシデント対策研修会	MEセンター	14:00	14:30	斎藤
1008	2015/1/27	火	山口	4NICU	①特定機能病院定期研修	③血液浄化装置	TR-3000S JUN-505、55X		8	1		血液浄化装置取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	10:20	10:40	宇土
1009	2015/1/28	水	山口	CCU	①特定機能病院定期研修	③血液浄化装置	TR-3000S JUN-505、55X		5	1		血液浄化装置取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	13:50	衣川
1010	2015/1/28	水	山口	6S	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器 ④除細動器	TEC-7731 ザビーナ		14	4		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	14:00	高橋、斎藤
1011	2015/1/29	木	山口	6N	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器 ④除細動器	TEC-7731 ザビーナ		22	3		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	14:00	高橋、宮野
1012	2015/1/30	金	山口	GICU	②院内ME機器研修	②人工呼吸器	アイノベント	3	18	10		アイノベントNO取扱い説明	MEセンター	17:15	18:00	大能
1013	2015/2/4	水	山口	5E	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器 ④除細動器	TEC-7731 ザビーナ		19	2		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	14:00	大能、高橋
1014	2015/2/5	木	山口	5N	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器 ④除細動器	TEC-7731 ザビーナ		22	3		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	14:00	高橋、斎藤

ID	日付	曜日	記載者	研修場所	研修種類	分類	対象ME機器	医師	看護師	医技職	その他	研修内容	主催	研修時間	時間2	講師
1015	2015/2/12	木	山口	GICU	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器 ④除細動器	TEC-7731 ザビーナ		17	3		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	14:00	高橋、斎藤
1016	2015/2/18	水	山口	4N	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器 ④除細動器	TEC-7731 ザビーナ		19	4		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	14:00	大能、高橋
1017	2015/2/19	木	山口	CCU	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器 ④除細動器	TEC-7731 ザビーナ		16	3		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	14:00	茂谷、高橋
1020	2015/2/19	木	山口	13階合同カンファレンスルーム	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器 ⑥その他	ザビーナ、加温加湿器 生体監視モニター エビタ4、ザビーナ、 エングストローム					官生職対象、医療機器安全官生講習会(人工呼吸器、生体監視モニター、加温加湿器)インシデント報告	MEセンター	13:00	14:00	山口
1018	2015/2/20	金	山口	4N	②院内ME機器研修	②人工呼吸器			4	3		4N看護師より依頼、移動者対象人工呼吸器取扱い説明	MEセンター	15:00	15:40	辻
1019	2015/2/21	土	山口	手術室R4	②院内ME機器研修	②人工呼吸器	麻酔器(ファビウス)	4				麻酔科より依頼、ローテーション研修医に対する人工呼吸器使用説明(実機説明)	MEセンター	10:30	11:00	山口
1021	2015/2/24	火	山口	化学療法センター	①特定機能病院定期研修	④除細動装置(AEDを除く)	TEC-7731		6	1		除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	16:00		高橋
1022	2015/2/24	火	山口	4N	①特定機能病院定期研修	③血液浄化装置	TR-3000S JUN-505、55X		5	1		血液浄化装置取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:35	13:50	宇土
1023	2015/2/25	水	山口	CCU	①特定機能病院定期研修	③血液浄化装置	TR-3000S JUN-505、55X		8	1		血液浄化装置取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	13:30	13:45	宇土
1024	2015/2/25	水	山口	NICU	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器 ④除細動器	TEC-7731 ザビーナ		7	3		人工呼吸器、除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	14:00	14:30	宮野、斎藤
1025	2015/3/4	水	山口	手術室ナースラウンジ	①特定機能病院定期研修	④除細動装置(AEDを除く)	TEC-7731		11	1		除細動器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	17:00	17:30	岩井
1026	2015/3/4	水	山口	手術室ナースラウンジ	①特定機能病院定期研修	①人工心肺装置及び補助循環装置	人工心肺装置、心筋保護		5	1		人工心肺装置取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	17:00	17:30	岩井
1027	2015/3/4	水	山口	手術室ナースラウンジ	①特定機能病院定期研修	②人工呼吸器	麻酔器(ファビウス)		8	1		人工呼吸器取扱い説明、インシデント、アクシデント注意喚起	MEセンター	17:00	17:30	岩井

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	④・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 国際標準化機構（ISO15189認定）平成25年8月15日認定	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	④・無
・情報発信の方法、内容等の概要 【発信方法】 当院ホームページ 【内容の概要】 医療圏における基幹病院の一つとして最先端医療、高度医療をおこなっており、患者さんが安心できる安全で最新の医療の提供に努め、全ての人に平等で開かれた大学病院としての社会的責務を果たしている。 また、災害拠点病院・がん診療連携拠点病院・高度救命救急センターの指定を受けており、診療の多様化にも対応し、広く地域医療機関との連携を図り医療圏全体の充実に貢献している。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	④・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 救命救急センターでは、救急医学科及び関連各科の協力のもとに、第二次救急病院及び消防署等から搬送される重篤救急患者の医療を確保し、併せて卒前及び卒後の救急医学教育をおこなっている。	

脳卒中センターでは、脳神経外科、神経内科、救急医学科、リハビリテーション科及び関連診療科が協力して、超急性期に対する血栓溶解療法（t-PA静注療法）や脳血管内治療など、最新かつ質の高い脳卒中治療を提供している。

がん治療・緩和センターは、関連診療科と協力して、がんの効果的な治療と化学療法の一元管理により、医療の質を高め、より安全な治療をおこなうとともに、業務の効率化を図り北河内二次医療圏における「がん診療連携拠点病院」としての機能の発揮に努めている。

内視鏡センターでは消化器肝臓内科、消化管外科、呼吸器内科、呼吸器外科及び関連各科が協力して、消化器及び呼吸器に関連する消化器内視鏡、気管支内視鏡検査、内視鏡検査、内視鏡的治療を積極的におこなっている。